

令和5年度事業報告 および 令和5年度決算

【概況等】

令和5年度は、感染症の5類移行によるコロナ禍からの回復に伴い、観光が本格的に再開・再始動するとともに、文化庁の京都移転や京都市立芸術大学の京都駅東部への移転など、文化首都・京都として大きな節目を迎えた年であった。

当協会が発表する京都市内主要ホテル115施設の令和5年の客室稼働率は、73.4%となり、前年の52.0%を21.4ポイント上回った。外国人比率については、令和6年3月に59.1%を記録し、7か月連続でコロナ禍前の令和元年を上回って、高い水準を維持した。

当協会は、世界水準のDMOを目指す「先駆的DMO」として、以下4つの計画方針に基づき「市民生活と調和した持続可能な京都観光」の実現に向けて各事業を実施した。

計画方針① 京都観光モラルの普及

本格的に観光が回復を迎えた状況を踏まえ、市民、観光客、観光事業者等、京都観光に関わる全ての方の満足度や京都観光の魅力向上を目指す「京都観光モラル」の普及啓発に引き続き努め、「持続可能な京都観光を推進する優良事業者」の表彰や「京都観光モラル推進宣言事業者」の登録等を行った。

計画方針② 文化と観光の融合のさらなる推進

葵祭では4年ぶりに巡行が実施され、祇園祭、時代祭を含めた三大祭全てにおいて有料観覧席を設置したとともに、祇園祭においては、観光庁「観光再始動事業補助金」を活用し、プレミアム観覧席設置等の高付加価値化を図ったほか、「京の冬の旅」をはじめとした誘致事業や、二条城売店における収益事業が観光の回復を受けて好調に推移した。また、京の食文化を発信する「京都レストランウインタースペシャル」など、京都が世界に誇る文化と観光を融合させる取組を推進した。

計画方針③ 本格的なインバウンド再開に向けた誘客

本格的なインバウンド再開に向け、3年ぶりに「京都市認定通訳ガイド」の新規募集を実施したほか、海外旅行商談会への出展・海外有力メディアへの取材支援等のプロモーション活動を実施するなど、積極的な受入環境整備や誘客活動を実施した。また、観光分野において優秀かつ影響力のある都市等を表彰する国際的なアワード「スイス観光賞」を受賞し、世界の優れた観光都市として高い評価を受けた。

計画方針④ 観光課題対策

一部の観光地や一部の観光客によって生じているマナーや混雑問題については、京都府警等とも連携し、新たなマナー啓発コンテンツを制作・発信したほか、「手ぶら観光」推進のための特設サイト「HANDS FREE KYOTO」の大幅改修等を実施した。また、「とっておきの京都」エリアや「朝観光・夜観光」のプロモーション強化など、場所と時間の分散化に積極的に取り組んだ。

その他、京都の観光産業で働く魅力等を発信する特設サイト「京都観光はたらくNavi」の開設等、業界の担い手不足の改善に向けた取組を実施した。

【参考】令和5年度計画方針（令和5年3月23日理事会承認）

計画方針① 京都観光モラルの普及

持続可能な京都観光の実現には、市民生活と観光の調和は欠かすことができない。市民、観光客、観光事業者・従事者等、京都観光に関わる全ての方の満足度の向上を図り、それにより京都観光の魅力をさらに高め、将来にわたって発展していく好循環を目指す京都観光モラルを引き続き普及させる。

京都観光モラルに沿った取組を推進する事業者を募集・認定・公表するほか、「持続可能な京都観光を推進する優良事業者表彰」を実施する。

<関連する主な取組>

京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及啓発

計画方針② 文化と観光の融合のさらなる推進

文化庁の京都移転、京都市立芸術大学の京都駅東部への移転を契機に、京都が世界に誇る文化と観光を融合させる取組を推進する。

4年ぶりに行列を実施する葵祭に祇園祭、時代祭を含めた三大祭における観覧席設置事業の高付加価値化や、京の夏の旅と冬の旅における文化財の特別公開、京の食文化を発信する京都レストランウインタースペシャルなど、文化と観光が両輪で実現する事業を展開する。

<関連する主な取組>

京の夏の旅・京の冬の旅キャンペーン、三大祭観覧席設置事業、伝統行事執行補助、伝統文化・伝統産業等の体験型事業（京都「千年の心得」）、京の食文化魅力発信事業、重要文化財施設「旧三井家下鴨別邸」の管理運営

計画方針③ 本格的なインバウンド再開に向けた誘客

本格的なインバウンドの再開に向け、積極的な誘客と受入環境の整備を行う。

コロナ禍の中止を経て再開するファムトリップでの取材支援や海外有力メディアを通じた情報発信の強化、世界的に有名な富裕層向けの商談会であるILTM（International Luxury Travel Market）等への出展等により、世界に対する京都のプロモーションを強力に進める。

また、3年ぶりとなる京都市認定通訳ガイドの新規募集、市内の免税店を対象とした多言語コールセンターの運営等を行う。

<関連する主な取組>

多言語サイト「Kyoto City Official Travel Guide」の運営、SNSを活用した情報発信、海外情報拠点の運営、海外旅行商談会等出展、海外メディア取材支援、貸出用写真・動画素材の拡充、京都コンシェルジュ研究会、京都市認定通訳ガイドの育成・活躍支援、多言語コールセンター

計画方針④

観光課題対策

コロナ禍以前に一部の観光地で生じていた観光客の集中による混雑に対し、コロナ禍では密の回避というこれまでとは違った視点から対策を行ってきた。ライブカメラの設置や観光快適度マップの運用などデジタルを用いた対策や、時期・時間・場所の3つの分散化といったこれまでから進めてきた取組みを、多言語化等によりさらに発展させ、より一層の混雑抑制を目指す。

また、文化や生活習慣等の違いから生じる一部の外国人をはじめとした観光客のマナー問題についても、コロナ禍前から取組みを継続している。インバウンドの再開に伴い、外国人観光客向け啓発コンテンツの開発や観光事業者を通じた観光客へのマナー啓発等を行う。

<関連する主な取組>

京都観光公式WEBサイト「京都観光Navi」の運営、多言語サイト「Kyoto City Official Travel Guide」の運営、SNSを活用した情報発信、京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及啓発、マナー啓発、混雑可視化による分散化、多様なエリアの魅力発掘・発信や、隠れた名所の活用（場所の分散化）、朝観光・夜観光の推進（時間の分散化）、買物環境整備・キャッシュレス促進

<実施事業詳細>

I 観光都市京都の紹介宣伝事業（公益目的事業会計）

1 JR各社との連携活動

(1) JR西日本との連携

九州、北陸、中国地区からの観光客誘致を図るため、JR西日本との共同事業「京都・大阪・神戸観光推進協議会」に参画し、京都・大阪・神戸の三都市間で連携した誘致を行った。公式SNS等での三都市のブランディングや旅行商品造成による集客の他、大阪・関西万博を見据えた三都協議会ならではの観光素材の発掘・発信等を通じ広域観光を推進し、三都市の魅力発信に努めた。



(2) JR東海との連携

最重点市場である首都圏及び東海道新幹線沿線地区からの観光客誘致を図るため、JR東海の媒体をはじめ、マスコミを活用した幅広い京都PR及び観光コンテンツの充実を推進した。



(3) JRグループ6社共同キャンペーンと連携した観光振興の継続実施

昭和54年度より長年にわたり実施しているJRグループとの「京の冬の旅」キャンペーンについて、冬季の観光振興を図る最重点事業として、令和6年度以降も引き続きJRグループ6社によるデステイネーションキャンペーンとして実施できるよう要請した。また、全国宣伝販売促進会議等の活用、主

要事業との相乗により会員をはじめとした観光事業者の参画、夜観光の素材提案等、キャンペーン効果の更なる波及を促進した。

2 情報発信の充実

(1) 京都観光公式WEBサイト「京都観光Navi」の運営

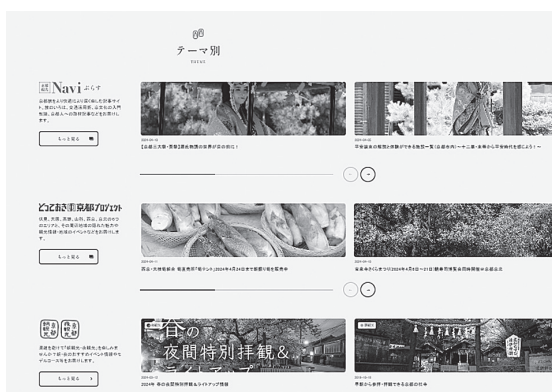
「京都観光Navi」において、イベント情報を中心に継続的に発信し、観光客の利便性向上に努めた。令和5年度の主な実績は以下のとおり。

指標	令和5年度	令和4年度
ページ閲覧回数	2,320 万回※	2,931 万回
延べサイト訪問者数	1,004 万人※	930 万人

※令和5年途中にGoogle Analytics（測定に用いる機能）の仕様変更があったため、前年との単純比較はできない。

① トップページのリニューアル（令和5年10月～）

画面上部のメニュー（グローバルナビ）を整理するとともに、ニーズの高いイベント情報をトップページから検索できるようにした。また、京都観光Naviぷらす・とっておきの京都・朝夜観光ページの最新記事を自動表示させることで、サイト間の回遊性を高めた。



② 観光課題への注意喚起（令和5年10～11月・令和6年3月）

臨時手荷物預かり所や仮設ポータブルカメラ、地下鉄・バスの増発情報など、京都市の観光課題対策に関する広報を1ページにまとめ、観光客にわかりやすく伝えた。



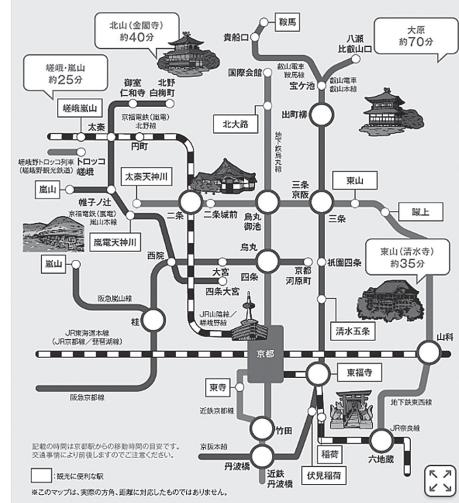
秋の注意喚起情報ページ



春の注意喚起情報ページ

③ 交通案内ページのリニューアル（令和6年3月）

混雑を避けて快適に移動していただけるよう、主要観光地へのアクセス、お得な企画乗車券、交通手段別活用法などを再編集した。ページ作成に使用する素材や記載内容を京都市交通局のPRと共通化し、観光客へのメッセージを統一した。



④ 認定メディアまとめサイト『Kyoto Official Media Partners』の公開（令和6年3月）

記事掲載や広報において相互協力等を希望するWEBメディア運営事業者を募集・審査し、10社を「メディアパートナー」に認定した。観光課題の解決に資する記事や市民がおすすめする穴場スポット、伝統文化・工芸、食文化の理解促進等をテーマとする記事を掲載した。



⑤ 市内イベント情報／中止・延期情報について発信（随時）

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
イベント情報更新	1,322件	1,112件	+18.8%



⑥ 年末年始の行事、交通について発信（令和5年12月）

京都総合観光案内所（京ナビ）と連携し、年末年始の行事・交通情報を掲載した。

- ・初詣スポットに加え、年末に賑わう錦市場のライブカメラを追加した。
- ・京の冬の旅に先駆け、干支「辰（龍）」にまつわるスポットをまとめた。



(2) 多言語サイト「Kyoto City Official Travel Guide」の運営

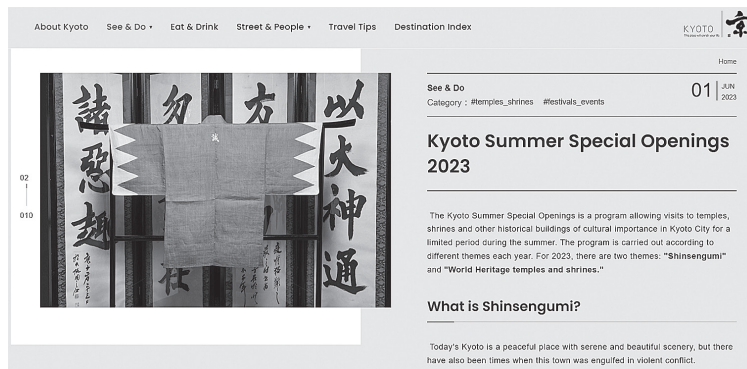
京都ブランドの維持向上や海外渡航再開後の来訪機運を醸成するため、関心の高いテーマについて、記事を定期的に発信した。また、浸透に一定時間を要する観光モラルやマナー情報について継続して情報を発信した。令和5年度の主な実績は以下のとおり。

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
ページ閲覧回数	328万回※	152万回	+115.7%
延べサイト訪問者数	143万人※	64万人	+123.4%
掲載記事件数	92件	67件	+37.3%

※令和5年途中でGoogle Analytics（測定に用いる機能）の仕様変更があったため、前年との単純比較はできない。

① 各種集客事業の宣伝ページの開設

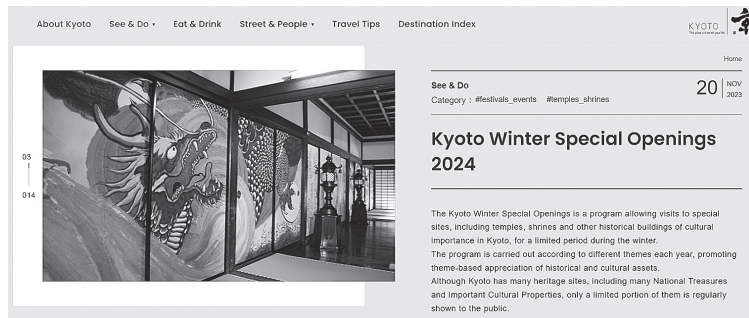
増加する海外からの旅行者に対応するため、外国人観光客向けの集客事業に関する情報を英語で発信するページを開設した。



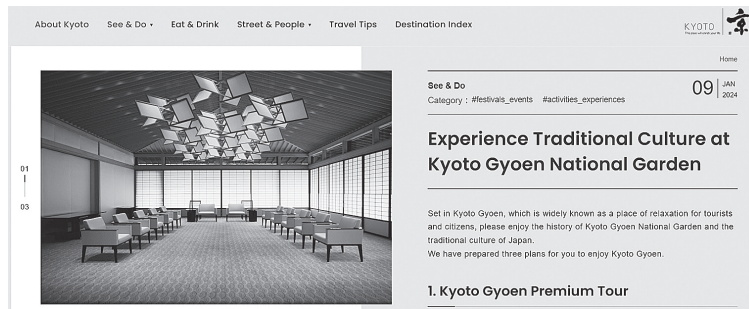
「京の夏の旅」英語ページ（令和5年6月）



「GIONプロジェクト2023」（令和5年7月）



「京の冬の旅」英語ページ（令和5年11月）



「京都御苑プロジェクト」（令和6年1月）



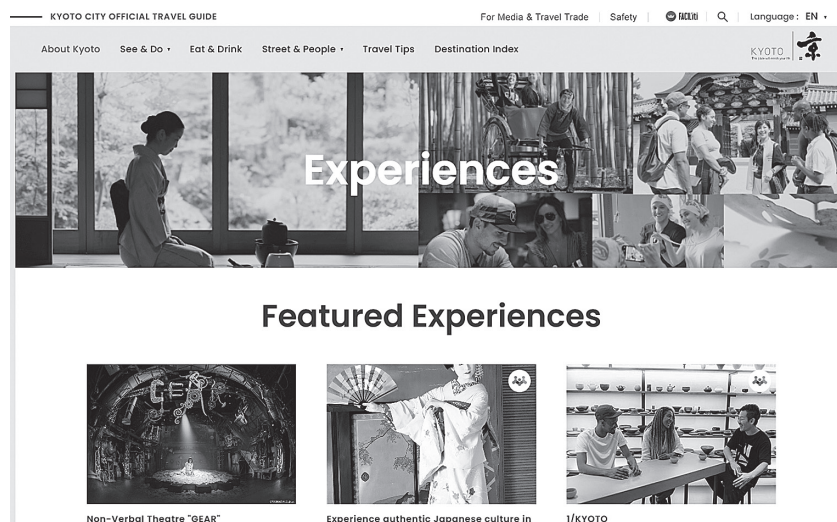
② Transportationページ リニューアル（令和6年3月）

閲覧数の多い交通案内情報ページについて、Getting to Kyoto（京都へ行く）とGetting Around Kyoto（京都を巡る）に分け、掲載内容の再編集を行った。



③ Experiencesページの開設（令和6年3月）

「インバウンドイノベーション京都」事業で採択した事業者による体験型商品など、京都の多様な体験を紹介するページを開設し、令和5年度は37件の商品を掲載した。



(3) SNSを活用した情報発信

「京都市観光協会経営戦略2025」の経営指標として、Facebook（日本語、英語）やTwitter、Instagramの公式アカウントにおけるフォロワー数を掲げており、令和6年度末までにFacebook日本語アカウントは5万人、Facebook英語アカウントは60万人、Instagramは4万人、Xは3万人を目標としている。

これら公式アカウントを引き続き運営し、観光情報のタイムリーな発信やマナー啓発、災害時の情報発信等を行った。

Facebook日本語アカウント/X（旧Twitter）アカウント「京都観光Navi」実績

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
投稿件数	650件	475件	+36.8%
Facebookフォロワー数	約4.0万人	約3.8万人	+5.2%
X(Twitter)フォロワー数	約2.7万人	約1.6万人	+68.5%

Facebook英語アカウント「Visit Kyoto」実績

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
投稿件数	260件	76件	+242.1%
フォロワー数	約49.6万人	約49.8万人	-0.4%

Instagramアカウント「visit_kyoto」実績

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
投稿件数	37件	55件	-32.7%
フォロワー数	約6.8万人	約6.3万人	7.9%

災害時の情報発信の実績

発信日	概要
令和5年6月2日	大雨警報発令
令和5年7月19日	阪急が8時間ほど不通
令和5年7月26日	大雨洪水警報発令
令和5年8月13日	台風7号に伴う列車の運休の可能性について
	台風接近に伴う、京の夏の旅の変更
令和5年8月14日	新幹線運転取りやめRT（リツイート）
	JR在来線運転取りやめRT（リツイート）
	台風接近に伴う、京の夏の旅の変更（上賀茂神社の拝観前倒し終了）
	台風に関する注意喚起
	台風により、8/15 送り火護摩木受付中止
	台風接近に伴う影響&施設休止情報告知
令和5年8月15日	台風に関する注意喚起（9:15 時点）
	台風に関する注意喚起（18:00 時点）
令和5年8月16日	台風接近に伴う、京の夏の旅の変更
	台風接近に伴う影響&施設休止情報告知
	新幹線のダイヤ乱れ
令和5年8月17日	新幹線のダイヤ乱れ
令和6年1月25日	積雪に伴う施設・イベント休止、交通運行情報
令和6年1月26日	積雪に伴う施設・イベント休止、交通運行情報

(4) 事業者向けWEBサイトの充実を中心とした広報・広聴機能の強化

事業者向けWEBサイトの掲載内容を、昨今の情勢変化、各事業における取組方針や状況を踏まえて更新した。また、メールマガジン「京都観光MICE NEWSletter」や、京都観光に関するコラムの配信を通じて当協会の事業活動を周知し、地域や業界における存在感の向上を図った。

特に、令和5年度は以下の項目に取り組んだ。

- ① 当協会職員のインタビューを通じた事業紹介記事の発信
- ② 時宜に応じた取組に携わる会員事業者の取材記事の発信

3 海外情報拠点の運営

(1) 京都市海外情報拠点運営事業

海外における旅行動向等の情報を収集するとともに、マーケティングに基づいた京都観光のPR活動等を行うため、世界6都市において情報拠点の運営を行った。

京都市内の新規開業施設情報、観光モラルや観光課題対策、イベントの開催をはじめ京都全般の情報等をもとに、各拠点から京都観光の魅力強化及び情報の周知について、現地有力メディアに対し観光・文化情報に加えて発信した。

(海外情報拠点設置都市)

ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、パリ、シドニー、台北

(2) 海外旅行商談会等出展

国内外で開催されている旅行商談会や展示会に参加し、デスティネーションとしての京都をPRした。また、多くの顧客を有する海外の有力旅行会社関係者に対し、市内の旅行事業者等に関する情報を提供した他、海外から京都への旅行商品造成へのアドバイス及びネットワーク構築を図った。

また、スイスでは展示会と併せて、持続可能な新しい観光に貢献する、世界の優れた観光都市等を表彰する「スイス観光賞“Swiss Tourism Awards”」の表彰式が開催され、京都市は「最高の旅行先“Best Travel Destination”」としてスイス観光賞を受賞した。

参加商談会一覧

日程	商談会（開催地）
令和5年6月	ILTM Asia Pacific（シンガポール）
令和5年10月	VJTM（日本）
令和5年11月	Swiss International Holiday Exhibition（スイス）
令和5年12月	ILTM Cannes（フランス）
令和6年3月	ITB Berlin（ドイツ）

商談の様子



Swiss International Holiday Exhibition



ILTM Cannes

4 メディア支援

(1) 海外メディア取材支援

海外有力メディア（オンラインサイト、TV、雑誌等）の取材誘導と受入を推進し、メディアへの効果的な露出を通じ、京都ブランドの向上を図った。

特に新規ホテルや「とっておきの京都」エリア（分散化対策）、京都観光モラルを含め、最新情報の提供を充実させた。

主な支援先：アメリカメディア「Forbes」「VOGUE」、イギリスメディア「The Times」、オーストラリアメディア「Australian Financial Review」、フランスTV「arte」、台湾雑誌「TravelerLuxe」等

支援件数：35件 広告換算額 合計1.3億円以上

（前年度支援件数：37件 広告換算額 合計1.3億円以上）



台湾雑誌「TravelerLuxe」



Veteran tour guide Itsuo Okada examines a canister used for storing matcha tea in Kyoto. CHRISTOPHER ELLIOTT

アメリカ「Forbes」

(2) ファムトリップの支援

渡航制限解除後、京都観光の新たな取組や情報を伝える機会としたファムトリップ（視察機会）を支援した。特に、「とっておきの京都」エリアへの訪問等の分散化に資する取組等のツアー造成や、伝統産業の体験の紹介、ハイエンド層に向けた宿泊施設の紹介など、訪日関連事業者等と京都市内の観光事業者を繋ぐ支援を行った。（支援実績：22件）

(ファミトリップ支援の一例)



旧三井家下鴨別邸及び専属庭師を、英国のPR会社及びジャーナリストに向けて紹介



西京区内のお寺で特別対応の座禅体験をデルタ航空招請の旅行会社に向けて紹介



「伏水酒蔵小路」(伏見区)や、日本酒を台湾メディア及び旅行会社へ紹介

(3) 貸出用写真・動画素材の拡充

DESTINATIONとしての京都の露出強化を図るため、メディア関係者等に京都の写真素材を提供する専用サイト「KYOTO IMAGE BANK」及び京都観光動画素材貸出サイト「KYOTO STOCK FOOTAGE LIBRARY」を通じて報道機関等に素材を提供し、メディア露出の更なる拡大を図った。

また、サステナブルツーリズム等を切り口としたプロモーション映像を新たに作成した。

対応件数：「KYOTO IMAGE BANK」20件 「KYOTO STOCK FOOTAGE LIBRARY」24件

(4) 京都観光の映像コンテンツ制作によるプロモーションの実施

訪日観光客に向けて、オーソドックスな京都に加えて京都観光のサステナブルな観光情報や、新たな魅力を含めた観光PR映像を制作した。



(映像ダウンロード用の受付ページも作成)

(5) 京都コンシェルジュ研究会

参画するホテルや所属するコンシェルジュとの連携により、一定以上の富裕層を含む観光客に対して必要な観光情報をより効果的に発信した。あわせて、京都を訪れる富裕層マーケットの現状やニーズを把握し、観光客の受入環境の更なる充実を図るための研修を実施した。

参画ホテル数：22施設→26施設 (+ 4 施設)

Ⅱ 京都ブランドの向上を目指す京都観光振興事業（公益目的事業会計）

1 市民生活と調和した持続可能な観光の推進

(1) 京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及啓発

京都観光モラルの特設WEBサイトの維持・運営を行い、各種取組に関する情報の更新や、ポスター等の画像ダウンロード用データを配信した。また、以下のとおり各種媒体を活用した発信を行った。

- ・ 市政広報板（市内約7,500箇所）に、令和5年9月後半の2週間にわたって、京都観光モラルの啓発ポスターを掲示。
- ・ 交通新聞社「京都散歩地図」（初版2万部）の裏表紙へ広告掲載。
- ・ 交通新聞社「別冊旅の手帖（京の冬の旅特集号）」（4万5千部発行）の誌面に広告掲載。
- ・ Umekoji map（英語版フリーペーパー）に掲載。

さらに、過年度の「持続可能な京都観光を推進する優良事業者」として表彰された事業者のうち、5件の取材を行い、優良事例記事として「京都観光Naviぷらす」など既存の情報媒体と連携して発信した。



「都和旅館」



「アオイ自動車」



「京料理 木乃婦」



「ホテル日航プリンセス京都」



「あじき路地」

前年度に引き続き、京都観光モラル推進宣言事業者を募集し、130件の事業者を登録した。さらに、「持続可能な京都観光を推進する優良事業者」の審査を行い、26件の表彰を行った。



令和5年度「持続可能な京都観光を推進する優良事業者表彰」表彰式
令和6年1月19日

(2) マナー啓発

- ・日本政府観光局（JNTO）と連携し、海外現地旅行会社や通訳ガイド事業者向けに、マナー遵守に関する依頼文を発信
- ・京都府警と連携し、マナー啓発ポスターのデザインを改訂

【改訂版】

【旧版】

【ポイント1】
法令に抵触する可能性のある行為を明記し、場合によっては通報により警察官が駆け付ける旨を明記しました。

【ポイント2】
全体的に文字量を減らし、かつ、外国人観光客に分かりやすい表現に修正。

【ポイント3】
京都府警察のロゴを挿入。

- ・地下鉄京都駅及び烏丸御池駅にデジタルサイネージを3台設置し、各種啓発映像を配信
- ・以下の事業者と連携し、啓発ポスター・チラシの掲示やデジタルサイネージの放映を実施

JR京都駅周辺	JR京都駅構内(中央改札(1面)、西口改札(1面)、「特急はるか」着ホーム(3面))、京都ポルタ(最大計38面)、みやこ夢てらす(京都駅八条口、12面(11月限り))等
京阪電車構内等	祇園四条駅インパクトデジタル(9月下旬～11月下旬、計8面) 中書島駅、丹波橋駅、伏見桃山駅、伏見稻荷駅、東福寺駅、清水五条駅、祇園四条駅、三条駅、出町柳駅
近鉄電車構内等	京都駅、東寺駅、十条駅、上烏羽口駅、伏見駅、近鉄丹波橋駅、桃山御陵前駅
嵐電構内等	四条大宮、帷子ノ辻、嵐山、西大路三条上り、山ノ内を除く全駅
関空リムジンバス	車内座席前ポケット(京阪バス運行分) 京都駅八条口案内所、三条出札所
関西国際空港	国内線・国際線到着口(計14面)
コンビニエンスストア	ローソン、セブンイレブン市内全店舗

- ・中国本土市場向けにSNS「Weibo(微博)」を活用したマナー啓発を実施

発信日	概要
令和5年11月16日	紅葉情報、臨時手荷物預かり所について
令和5年11月24日	紅葉情報、Mind Your Mannersについて
令和5年11月30日	嵯峨嵐山における周恩来詞碑、迂回路について
令和5年12月22日	京の冬の旅および社寺での拝観マナーについて
令和6年1月12日	新年のご挨拶
令和6年1月18日	直前キャンセルや食べ残しについて
令和6年2月1日	京都観光モラル在住外国人座談会記事について
令和6年2月9日	手ぶら観光のススメ
令和6年3月14日	桜情報、手ぶら観光について
令和6年3月28日	桜情報、手ぶら観光について

- ・マナー啓発版の一日乗車券や観光案内地図(日本語3万部、英語3万部、簡体字2万部、繁体字2万部 B2サイズ計10万部)の作成
- ・オンライン広告を活用し、京都観光に関心のある方への「旅マエ」啓発、市内に滞在する観光客等を対象とした「旅ナカ」啓発を令和5年11月下旬から令和6年3月末まで実施した。



(3) 混雑可視化による分散化

外国人観光客の需要回復を受けて、これまで混雑予測に用いてきた日本人の位置情報ビッグデータに、外国人の位置情報ビッグデータを追加し、予測精度の向上を図った。

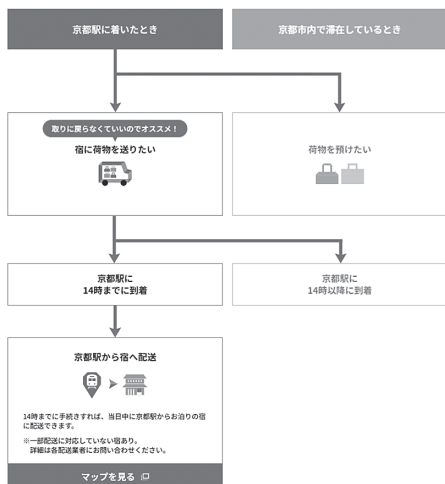
また、これまで市内10箇所に設置してきたライブカメラとは別に、可搬式のライブカメラを2台設置し、一時的な混雑が予想される場所において、以下のとおり配信を行うことで、混雑回避を促した。

対象イベント	配信期間	設置場所
祇園祭	令和5年7月14日～7月24日	京都経済センター 阪急烏丸駅（地下1階）
五山送り火	令和5年8月16日	京阪 出町柳駅 叡山電鉄 出町柳駅
時代祭	令和5年10月22日	河原町三条 早川ビル3階
鞍馬の火祭	令和5年10月22日	叡山電鉄 鞍馬駅
秋の紅葉	令和5年11月17日～12月3日	東山消防署 3階 京都駅烏丸口タクシー乗り場
年末年始	令和5年12月27日～ 令和6年1月8日	東山警察署 祇園交番3階
節分祭	令和6年2月2日～2月4日	吉田神社境内
春の桜	令和6年3月19日～4月14日	京都国際交流会館

※秋の観光シーズンより設置場所としている「京都駅烏丸口タクシー乗り場」は、配信期間を終了した現在においても、設置場所の了承を得たうえ継続配信している。

(4) 手ぶら観光の推進

特設サイト「HANDS FREE KYOTO」を改修し、手荷物預かりサービスが利用できる施設等の位置情報をまとめたGoogleマイマップや、利用シーンに応じたサービスを紹介するためのフローチャート機能を新設した。



フローチャートのイメージ



Google マイマップのイメージ

(5) 京都駅の「総合コンシェルジュ」事業の実施

秋の交通課題対策として、「手ぶら観光」や「鉄道を利用した市内移動」の推進を目的に、事業主体である近畿運輸局とともに京都市等と連携し、京都駅に「総合コンシェルジュ」を配置した。また、京都駅ビル内のロッカーや手荷物預かり、託送サービスの稼働状況の一元的な把握、情報配信を行い、その有用性を検証した他、新幹線改札口付近において、手ぶら観光や市内移動ルートを案内するスタッフを配置した。

事業主体：国土交通省近畿運輸局・公益社団法人京都市観光協会

実施日：11月18日、23日～26日、12月3日

実施時間：9時～17時

★ 京都駅実証事業2023秋

- 日本旅行スタッフ1
市バス乗場 と列有るもバス続々と来てます
- 日本旅行スタッフ4
クスター 30名ほど並び始めました
- JR東海京都駅内動
11:20 八条東口の佐川急便一時預かり受付中止しました。
- 日本旅行スタッフ1
手荷物一時預かり クスター案内お願いします
または、烏丸口臨時預所
- 日本旅行スタッフ1
クスター と列ほぼ無し
烏丸口臨時預所 8割 満 あと50個程でいっぱいになります
烏丸口タクシー乗場 と列5メートル程
- 日本旅行スタッフ1
クスター まだまだ 有りですがと列2列程です



(6) 京都市認定通訳ガイドを活用したモデルツアーの造成

京都市認定通訳ガイドを活用した外国人観光客向けの京都駅発ツアーを造成した。ツアー実施を通して京都の文化や風習を伝え、手ぶら観光や電車内の立ち振舞い、ごみの持ち帰りなどのモラル・マナーの啓発を行った。

実施期間：令和5年10月2日（月）～10月21日（土）

参加者数：101名



嵐山コース



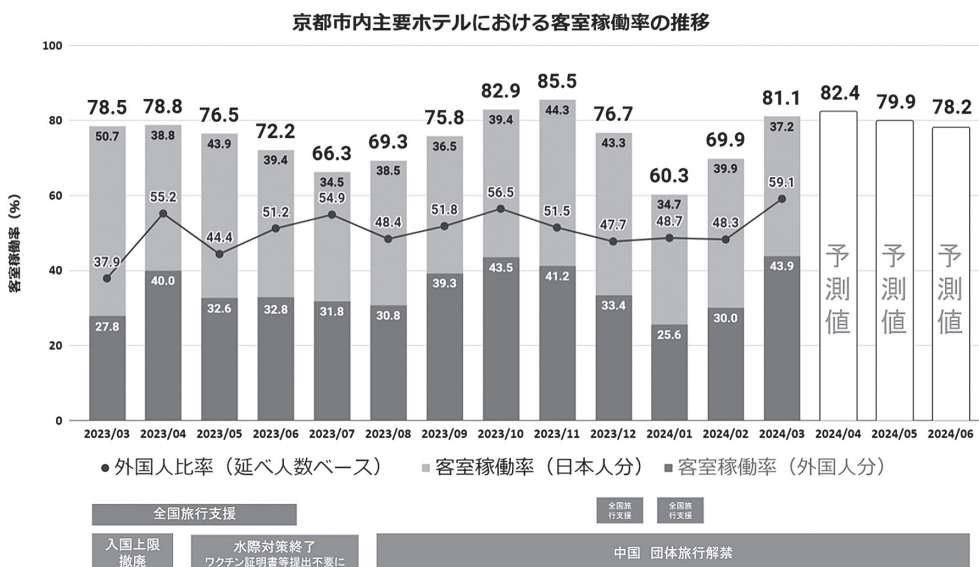
伏見稲荷大社コース

2 マーケティング・調査分析事業

(1) 京都市観光協会データ月報の充実

京都観光の市場動向をいち早く把握できるよう、市内主要ホテルの統計情報や免税店の売上状況、ビッグデータの分析結果等を「京都市観光協会データ月報」として発表した。

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
閲覧ユーザー数	19,262人	17,507人	+10.0%
資料ダウンロード件数	6,442件	4,898件	+31.5%



(2) 観光関連統計の分析結果の解説

京都市において実施している「京都観光総合調査」をはじめ、外部の統計調査を幅広く収集・分析し、より質の高い観光地づくりにつながる施策を策定するための根拠データとして、各種講演・講義活動などを通して発信した。

講演・取材対応等の主な実績

日 程	概 要
令和5年 4月 24日	京都産業大学 講義
令和5年 5月 26日	静岡市立服織中学校 修学旅行生向け講義
令和5年 6月 12日	鎌ヶ谷市立第五中学校 修学旅行生向け講義
令和5年 6月 13日	JICA マレーシア行政官向け研修
令和5年 7月 5日	京都産業大学 講義
令和5年 7月 27日	京都国際観光活性化協議会（5K会）講演
令和5年 8月 25日	流通科学大学 講義
令和5年 9月 11日	国士舘大学 講義
令和5年 9月 20日	京都市認定通訳ガイド向け講義
令和5年 9月 20日	東京都 MICE 連携推進協議会 魅力発信部会 第1回
令和5年 9月 30日	九州産業大学 講義
令和5年 10月 4日	北海学園大学 講義
令和5年 10月 5日	大都市観光協会連絡協議会 講演
令和5年 10月 16日	光華女子大学 講義
令和5年 10月 19日	立教大学 社会人向け講座 講義
令和5年 10月 21日	観光情報学会 基調講演
令和5年 10月 24日	東京大学公共政策大学院 講義
令和5年 10月 1日	上越市議会 研修対応
令和5年 11月 2日	日本交通公社 旅行動向シンポジウム
令和5年 11月 28日	京都大学 経営管理大学院 講義
令和5年 12月 3日	公共政策インゼミ 講義
令和5年 12月 15日	熊本県庁「観光経営塾」
令和5年 12月 19日	東京都 MICE 連携推進協議会 魅力発信部会 第2回
令和6年 1月 18日	運輸総研「地域観光産業の基盤強化・事業革新に関する調査研究」委員会
令和6年 2月 6日	観光庁「DMO 全国会議」講演
令和6年 3月 5日	福岡観光コンベンションビューロー 職員研修

(3) 各種調査結果を活用した戦略・計画の策定

経営戦略及び事業計画の進捗把握を目的に、観光庁による先駆的DMOに対する支援も活用しながら、「京都観光のプレイスブランディングに関する調査」及び「京都観光の経済効果の分析調査」「市内観光施設・店舗における外国語表記実態調査」を実施した。「外国語表記に関する調査」は、令和6年2月28日に報告会を実施し、「外国語表記ガイドライン」として法人サイト上で公開した。残り2件の調査結果については、令和6年度中の発表を予定する。



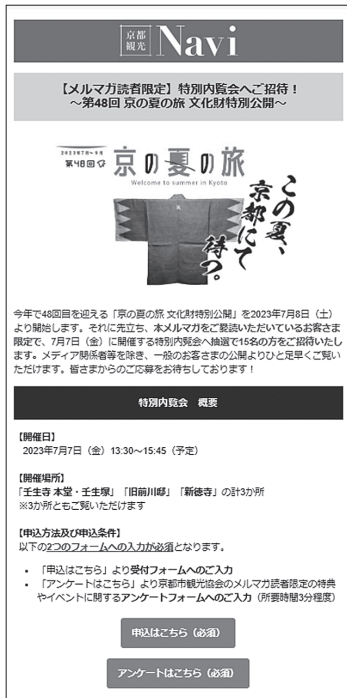
(4) デジタル技術の普及・啓発

催事主催者等の集客事業者に対し、事前予約システムの導入支援やクラウドサービスを活用した実績報告手続きの効率化を通じ、事業者におけるデジタル技術導入を推進した。

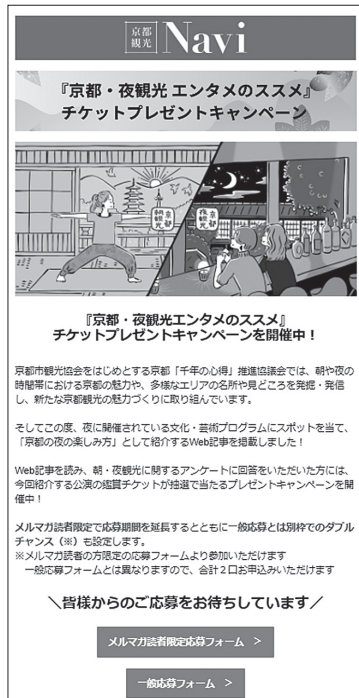
(5) 顧客データ管理システムの開発と運用

文化財特別公開等の事業において収集した商品予約履歴データを分析・分類し、顧客ニーズに応じたメルマガジンの個別配信を通じ、平均60%以上の高い開封率を達成した。また、特に関心度の高い読者に限定イベントの招待メールを送信し、定着率の向上や参加者を対象にグループインタビューを行い、ニーズの把握等多角的なマーケティングに取り組んだ。

メルマガジン配信実績の例



令和5年6月16日配信
京の夏の旅文化財特別公開
特別内覧会へのご招待



令和5年11月15日配信
「夜観光」講演ご招待



令和6年1月9日配信
冬季期間「事前予約の旅」
対象商品利用者向けキャンペーン

3 観光コンテンツの開発

(1) 多様なエリアの魅力発掘・発信（場所の分散化）

これまで「とっておきの京都プロジェクト」として推進してきた分散化事業の知見を活かし、京都観光のリピーター層を対象とした伏見、大原、高雄、京北、西京、山科エリアへの取組を深め、隣接エリアも含めた魅力発信、周遊促進に取り組んだ。また、地域の事業者・団体等が主体性を持って面的に取り組む観光誘客策を対象として、コンテンツ造成やPRのノウハウ支援・育成を行う実証事業制度を設けた。



「とっておきの京都プロジェクト」WEBサイトの情報更新件数

	伏見	大原	高雄	山科	西京	京北	合計
イベント・行事	139	38	20	42	96	42	377
特集記事	21	7	3	9	10	8	58
合計	160	45	23	51	106	50	435

【地域実証事業支援制度 採択事業】

エリア名	事業名
山科	～学んで歩く～山科深耕ウォーキング
伏見	伏見エリア回遊と消費拡大着地型事業（食べ歩きクーポン発行）
大原	大原の里山風情を五感で感じる農と食の体験ツアー
西京	京都西山ヒルクライム参拝！powered by Sigr
京北	西の鯖街道京北「寺マルシェ」開催
	京北「千年の森」新リトリートプロジェクト

(2) 朝観光・夜観光の推進（時間の分散化）

早朝拝観や夜間イベント等、朝・夜の魅力ある観光コンテンツの開発と情報発信を行った。特に春や秋の京都観光の繁忙期において、朝観光・夜観光に取り組む事業者・団体等と連携した共同プロモーションを実施する等、混雑回避と有効な時間の活用方法を観光客に提案することにより、時間の分散化を図り、宿泊の促進、観光消費の拡大につなげた。



(3) 第48回「京の夏の旅」キャンペーン

① 文化財特別公開の企画実施

若年客層等の需要開拓を目的に、「新選組」をテーマとして普段見学することのできない社寺や施設等の文化財特別公開や定期観光バス、タクシー等による特別コースを企画する他、観光の回復を見据えた需要の獲得に向けて、インバウンドへの対応や夜観光との相乗に取り組んだ。

② 参加体験型イベントの企画実施

奥深い京都のほんものの魅力に触れ、日本文化の原点に出会うことのできる体験型観光プログラム「京都『千年の心得』」をはじめ、夏の京都ならではの観光コンテンツを事前予約制で提供し、観光の質の向上や混雑を回避できる観光スタイルを訴求した。



○文化財特別公開及び定期観光バス特別コース実績

		令和5年度 (第48回)	令和4年度 (第47回)	令和元年度 (第44回) ※コロナ前
文化財特別公開		102,556人	106,447人	118,810人
定期観光バス特別コース	Lコース	824人	1,612人	2,414人
	LSコース	1,109人	353人	718人
	AKコース	—	285人	218人
	LGコース	—	—	902人
	計	1,933人	2,250人	4,252人

<参考>「京の夏の旅」文化財特別公開箇所

令和5年度 (第48回)	令和4年度 (第47回)
上賀茂神社、下鴨神社、角屋、輪違屋、壬生寺本堂・壬生塚、旧前川邸東の蔵、新徳寺、仁和寺御殿・庭園、旧三井家下鴨別邸	上賀茂神社、下鴨神社、北野天満宮宝物殿、大覚寺霊宝館、仁和寺金堂・御影堂、龍安寺仏殿・西の庭、旧三井家下鴨別邸

<参考>「京の夏の旅」定期観光バス特別コース

	令和5年度 (第48回)	令和4年度 (第47回)
L	新選組と幕末ゆかりの地をたずねて	京の夏の風物詩 高雄の川床と世界遺産めぐり
LS	京都・世界遺産の美 国宝と名庭めぐり	源氏の重宝・伝説の刀剣をめぐる
AK	—	世界遺産パワースポット早回り！

(4) 第58回「京の冬の旅」キャンペーン

① 非公開文化財特別公開の企画実施

大河ドラマや干支（辰年）にちなみ、普段は見学することのできない寺社や施設の特別公開、冬ならではの風情を楽しむ定期観光バス、タクシーによる特別コースを企画した。JRグループと連携し、WEBやSNSを活用したプロモーションに取り組むことで、幅広い世代にキャンペーンを訴求し、全国からの観光誘致を実施した。

② 参加体験型イベントの企画実施

「京の冬の旅」の魅力を深めるとともに、「京の冬の旅」を軸とした各事業の効果を相乗的に高めるため、「京都『千年の心得』」の他、「朝観光・夜観光の推進」、「京の食文化魅力発信事業」、「隠れた名所の活用等による分散化」、「多様なエリアの魅力発掘・発信事業」等とも連動した各種体験型コンテンツをJRグループと連携して訴求した。



○非公開文化財特別公開及び定期観光バス特別コース 実績

		令和5年度 (第58回)	令和4年度 (第57回)	令和元年度 (第54回)
非公開文化財特別公開		363,581人	272,556人	269,355人
定期観光バス 特別コース	L1コース	2,196人	1,007人	1,860人
	L2コース	2,696人	1,117人	1,103人
	L3コース	2,152人	786人	987人
	L4コース	631人	—	1,215人
	計	7,675人	2,910人	5,165人

<参考>「京の冬の旅」文化財特別公開箇所

令和5年度 (第58回)	令和4年度 (第57回)	令和元年度 (第54回)
泉涌寺舍利殿、泉涌寺雲龍院、廬山寺、相国寺法堂・方丈、相国寺光源院、相国寺慈雲院、大徳寺法堂・仏殿、大徳寺龍源院、仁和寺金堂(裏堂)、涉成園(枳殻邸)園林堂、西本願寺飛雲閣(外観)、東寺五重塔、醍醐寺霊宝館、僧侶がご案内する特別拝観 東本願寺諸殿、僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺書院・飛雲閣(外観)	知恩院 大方丈・小方丈・方丈庭園、清水寺 成就院、大徳寺 三玄院、大徳寺 総見院、大徳寺 芳春院、上徳寺、妙心寺 壽聖院、妙心寺 玉鳳院、仁和寺 御殿・庭園、東本願寺 大寝殿・白書院、東寺 五重塔、醍醐寺 三宝院、醍醐寺 理性院、僧侶がご案内する特別拝観 東本願寺 諸殿、僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺 諸殿	霊鑑寺、知恩院 大方丈・小方丈・方丈庭園、高台寺、泉涌寺 霊明殿・御座所、泉涌寺 雲龍院、泉涌寺 新善光寺、大徳寺 法堂・方丈・唐門、大徳寺 総見院、大聖寺、三時知恩寺、光照院、宝鏡寺、妙心寺 仏殿・浴室「明智風呂」、妙心寺玉鳳院、東寺 五重塔

<参考>「京の冬の旅」定期観光バス特別コース

	令和5年度 (第58回)	令和4年度 (第57回)	令和元年度 (第54回)
L1	紫式部と源氏物語ゆかりの地をたずねて	徳川家康ゆかりの寺院で非公開文化財をめぐる旅	～御大札奉祝～ 高雅な御所文化 京の尼門跡寺院めぐり
L2	辰年のご利益 京の龍めぐり	大徳寺と妙心寺 武将ゆかりの非公開の禅寺をめぐる旅	～御大札奉祝～ 皇室ゆかりの寺院をたずねて
L3	襖絵・絵画の美をたずねて 特別 京の冬の旅初公開めぐり!	二つの世界遺産 密教美術の宝庫・東寺と醍醐寺をたずねて	“香り”で楽しむ京の旅 ～写真では語れない旅の思い出を～
L4	世界遺産の美! 「京の三名園」と名庭めぐり	「雪月花の三庭苑」めぐり	～大河ドラマ「麒麟がくる」放映～ 明智光秀と戦国の英傑ゆかりの寺めぐり

(5) 秋季の観光誘致

事前予約制の体験型コンテンツの提供による質を重視した観光誘致、事業者や団体等と連携したエリアや時間の分散化についての情報発信を目的に、「京都 秋の観光のススメ」を発行、混雑緩和を通じた京都観光の創出と、宿泊需要喚起に取り組んだ。



テーマ	内容
特別公開	金戒光明寺、浄住寺、東福寺正覚庵、霊鑑寺、宝鏡寺、西陣興聖寺、旧三井家下鴨別邸、ガイドウォークツアー
夜観光	金戒光明寺、仁和寺、ひかりの京都 2023、萬福寺 KYOTO de petit 能、ギア、市民狂言会、ギオンコーナー、よしもと祇園花月（よるよる新喜劇）、京都市交響楽団フライデー・ナイト・スペシャル、京都+温泉
事前予約プラン	貸切タクシープラン、本能寺、仁和寺、福寿園、嵯峨嵐山文華館、佐々木酒造、建仁寺、金剛能樂堂、スカイホップバス、金戒光明寺、京都モダン建築祭等 ※観光庁補助金を活用した事業者のイベントや観光コンテンツを掲載
モラル・マナー	京都観光モラル、観光快適度マップ、ライブカメラ、手ぶら観光のススメ等

(6) 連携協定「ひろし・みやこ同盟」に基づく取組の推進

世界遺産をはじめとする歴史や文化等、観光地としての特性や取組に共通性を持つ、広島及び京都への誘客促進に向けて、広島県観光連盟と締結した連携協定に基づき、両地域の通訳ガイド同士やインバウンドコンテンツを手掛ける事業者同士の交流機会の創出、宿泊施設での両地域をPRする催事への協力等を通じ、両地域の受入態勢の強化や観光誘客に取り組んだ。



京都インバウンドカフェでの事業者交流



両地域の通訳ガイド交流



宿泊施設でのPRイベント

(7) 京都市認定通訳ガイドの育成・活躍支援

京都観光の専門知識を身に付け、外国語で京都の奥深い魅力を伝えることができる京都市認定通訳ガイド「京都市ビクターズホスト（KVH）」（英語・中国語・フランス語・スペイン語、約150名）に対し、通訳ガイドのサービス品質維持・向上を目的に、より実践的なガイディングスキルや具体的な専門知識を学べるスキルアップ研修を実施するとともに、3年ぶりに新規通訳ガイドを募集し、選考した40名に基礎研修を行った。

<スキルアップ研修 実施回数：全17回 参加者数：延べ246名>



観光モラル講習＋事業者面談会



データから見る京都観光（オンライン）



無鄰菴での実地研修



京都迎賓館での実地研修

また、京都市認定通訳ガイドの就業支援及び品質向上を目的として、平成29年から二条城にて公式定時ガイドツアーを実施している。実施にあたっては二条城事務所と協議のうえ、英語ツアーに加え、日本語ツアーも実施しており、英語ツアーを京都市認定通訳ガイドが担当している。

公式ガイドツアーはコロナ禍で休止していたが、令和5年3月～5月に試行実施を開始し、7月から、本格的に通年で定時ツアーを再開した。

実施期間（試行実施も含む）：令和5年4月1日～令和6年3月31日

実績（英語）：団体 298名、個人4,011名

実績（日本語）：団体2,069名、個人4,072名

4 伝統行事・伝統文化の振興

(1) 四大大行事の執行支援

① 三大祭観覧席設置事業

葵祭、祇園祭、時代祭の魅力のPRとともに、快適に祭をより近くに感じていただける有料観覧席を販売した。葵祭については、4年ぶりの有料観覧席の設置、販売となった。専門の販売システムを有する事業者による在庫管理や販売データの活用により、効率的な観覧席券の販売に取り組んだ他、観覧席と祭にちなんだ特別体験ツアーを合わせて造成するなど、高付加価値化を図った。

また、新たな収益モデルを拡充するため、企業等からの広告協賛を募集し、祭への執行補助金を安定・継続的に拠出できるよう、祇園祭、時代祭において取り組んだ。さらに、各祭への関心を高めるため、各執行団体等の協力のもとプロモーションを実施するとともに、メディア等へのアプローチの強化、関係団体やインフルエンサーと連携し積極的なSNS発信を行った。

② 伝統行事執行補助

有料観覧席やグッズの販売収益を、京都四大大行事（三大祭及び京都五山送り火）への執行補助金として交付した。また、葵祭及び京都五山送り火協賛会の事務局として、協賛金の勧募活動の他、行事を支える補助団体や執行団体との連携のもと、各協賛会の円滑な運営を通じ、行事の保存継承を推進した。

(2) 観光庁「観光再始動事業」の活用

観光庁による、インバウンドの本格的な回復を図るための特別な体験の創出、発信を目的とした「観光再始動事業」を活用し、「GIONプロジェクト」を実施した。祇園祭におけるプレミアム観覧席の設置や山鉾町の協力を得て、祭に携わる特別な体験を提供した他、世界文化遺産の社寺等における人数限定の高付加価値体験を造成、販売した。

また、「京都御苑で伝統文化に触れる一日」では、国民公園京都御苑内の施設を専用車で移動しながら訪問し、その歴史的価値を体感するプレミアムツアーや、国内外の観光客や市民が広く参加できるマルシェを開催した。

【GIONプロジェクト】

祇園祭プレミアム観覧席（7月17日） 設置84席／販売65席

山鉾での特別な体験（函谷鉾：7月16日・17日、鷹山：7月16日）

世界文化遺産社寺等での特別な体験（西本願寺、東寺、下鴨神社等）

NAKED夕涼み2023 世界遺産・上賀茂神社（7月6日～7月17日）



【京都御苑で伝統文化に触れる一日】

京都御苑プレミアムツアー（1月12日）

京都御苑マルシェ（2月3日）



(3) 伝統文化・伝統産業等の体験型事業（京都「千年の心得」）

京都ならではの奥深い魅力に触れる体験を訴求するブランドとして、JRグループや旅行会社等と連携して予約制体験コンテンツを発信した。

(4) 京の食文化魅力発信事業

① 京料理展示大会

京都料理組合が主催する「京料理展示大会」（12月）において、京の食文化の発信に努めた。

② 京都レストランウインターズスペシャル

京都国際観光レストラン協会の事務局を務めるとともに、京都レストランズスペシャル実行委員会の事務局を担い、「京都レストランウインターズスペシャル2024」の開催を通じ、京の食文化の発信に努めた。

	2024（今回）	2023（前回）
開催期間	2月1日～3月17日	2月1日～3月27日
参画店舗数	185店	153店
特別メニュー注文数	15,579	16,537
特別メニュー利用額	113,520千円	105,310千円
平均単価	7,287円	6,697円

5 地域振興及び面的観光の促進

(1) 琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会の運営

京都市、滋賀県、大津市等で構成される「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」の事務局を担い、「びわ湖疏水船」の運航事業をはじめ、令和2年6月に「日本遺産」に認定された琵琶湖疏水を活用したフィールドミュージアム整備事業等、琵琶湖疏水沿線の魅力発信事業を推進した。

「びわ湖疏水船」の運航事業では、乗船者数累計5万人を達成し記念事業を実施した。春季運航の大雨や秋季運航の倒木等により運休が発生したものの、事故や大きなトラブル等もなく目標通りの販売率を達成することができた。年間の乗船料収入においては、一部乗船料の変更により昨年比収入増となった。

「びわ湖疏水船」への関心を高めるため、新たな船の整備等に必要な資金の一部を調達することを目的にクラウドファンディングを実施し、琵琶湖疏水沿線の魅力発信と持続可能な通船運営に努めた。

フィールドミュージアム整備事業では、琵琶湖疏水の天津間門の電動化工事完了を受け、実証検証を重ねたうえで令和6年3月末より琵琶湖・大津港までの航路の営業延伸を実現した。

【びわ湖疏水船運航実績】

(春季) 令和5年3月25日(土)～6月11日(日) 62日間

(秋季) 令和5年10月1日(日)～11月30日(木) 47日間

	春 季	秋 季	合 計
乗船者数	7,110 席(7,149 席)	5,451 席(5,731 席)	12,561 席(12,880 席)
乗船率	86.9%(85.8%)	92.2%(94.5%)	89.1%(89.5%)

() 内は計画通り運航した場合の乗船者数及び乗船率

(2) 花灯路・ライトアップ支援事業

観光における時間と場所の分散化を図り、京都全域での夜観光、宿泊観光の推進による経済効果の波及を狙う「花灯路・ライトアップ支援事業」(京都府・京都市等で構成する協議会にて実施してきた「京都・花灯路」の後継事業)の事務局(京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教会、京都市観光協会、京都文化交流コンベンションビューローで構成)において、「京都・花灯路」で使用された行灯等照明器具の貸出事業を実施した。

【令和5年度実績】

○行灯貸出基数 4,010基

○行灯使用料 3,482,103円

(3) 京の七夕

京都府、京都市等で構成する「京の七夕実行委員会」の事務局を務め、旧暦の七夕にちなみ、8月上旬に「祈り」や「願い」をテーマに、京都各地の会場で開催される「京の七夕」関連事業の広報を支援し、併せて笹飾りの配布など、民間事業者等が行う事業の支援を行った。

また、京都府域への誘客を狙った企画を取り入れるなど、積極的な事業展開を図った。

- 「願いごと」募集期間 令和5年7月1日～8月31日 62日間（令和4年度 61日間）
- 「願いごと」件数 22,051件（令和4年度 20,274件）

(4) 二条城との連携

元離宮二条城において実施される春・夏・秋に開催される、夜間ライトアップに対応した売店営業や、春・秋における二条城まつりでの京都物産出品協会と連携した物産展の運営等により賑わいを創出し、国内・インバウンド観光客の誘致につなげた。

また、売店に併設する「二条城・伝統の逸品」コーナーでは、京都の伝統的な技術や技法を用い、二条城の建築物や障壁画等をデザインに活かした伝統産品を販売し、二条城と伝統産業の更なるPRに努めた。

【京の名産品展】

- 二条城桜まつり2023 令和5年3月17日～4月15日
- 二条城まつり2023 令和5年10月27日～12月3日
- 二条城桜まつり2024 令和6年3月8日～4月7日

6 修学旅行受入環境の整備

(1) 京都観光推進協議会への参画

京都観光推進協議会と連携し、修学旅行で京都へ訪れた各地の学校を訪問し、実情や要望等を直接聞く学校訪問事業を実施した他、令和5年5月9日に京都駅において修学旅行歓迎式を実施した。

(2) 修学旅行受入環境の整備

修学旅行の受入環境整備の一環として実施している修学旅行パスポート事業について、新たな協会会員に参画を促した。さらに、優待内容を業種別に検索できるよう特設ホームページを充実した。

また、カード型パスポートを3万部作成し、修学旅行相談窓口及び京都総合観光案内所で配布するとともに、特設ホームページからのダウンロード利用も積極的に推進した。

さらに、下見等で来所される学校関係者に対し、修学旅行パスポート等の資料提供や相談対応を引き続き実施した。

- 令和5年度 来所件数等
 - ・修学旅行相談窓口（京都市観光協会） 87件（令和4年度127件）
 - ・京都総合観光案内所 230件（令和4年度259件）
- 修学旅行パスポート
 - ・協賛施設数 286施設（令和4年度294施設）

7 事業者支援

(1) 買物環境整備・キャッシュレス促進

京都市が包括連携協定を締結している大手クレジットカード会社Visaや地域情報化推進団体KICSと連携し、非接触決済（キャッシュレス決済）の利便性を広くPRするとともに、土産店や飲食店等での導入及び観光客、市民の利用を促進した。

また、コロナ禍で休止していた免税店向け多言語コールセンターを再開し、京都市とともに共同事業として運営した。

(2) 宿泊施設魅力発信事業の実施

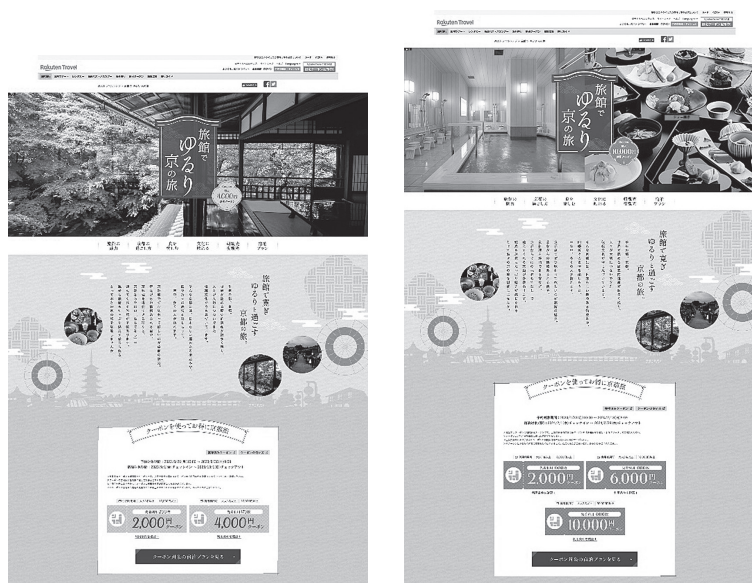
旅館の魅力発信強化を目的に、夏と冬の閑散期において、OTAサイト（楽天トラベル）を活用し、WEB上で旅館の魅力を発信する。また、OTAサイトからの予約に対して限定クーポンを付与することで、旅館の宿泊を促進させる事業を展開し、経営強化を支援した。

特設ページ	「旅館でゆるり京の旅」 京都の魅力を訴求する「京都の食」「京都の文化」「朝・夜観光」「カップル・女子旅」「ファミリー」「平日限定」「長期滞在（連泊）」といったプランを造成
キャンペーン期間	夏：掲載期間 8/21-9/18 予約期間 8/21-9/30 宿泊期間 9/1-10/1 冬：掲載期間 1/22-2/18 予約期間 1/22-2/28 宿泊期間 2/1-2/29
クーポン金額	夏：①2,000円クーポン（大人1名以上計10,000円（税込）以上） ②4,000円クーポン（大人1名以上計20,000円（税込）以上） 冬：①2,000円クーポン（大人1名以上計8,000円（税込）以上） ②6,000円クーポン（大人2名以上計18,000円（税込）以上） ③10,000円割引クーポン（大人2名以上計30,000円（税込）以上）
対象施設	京都観光旅館連盟加盟施設で、楽天トラベルに登録している施設
クーポン実績	夏：①2,000円クーポン 25枚 ②4,000円クーポン 113枚 冬：①2,000円クーポン 21枚 ②6,000円クーポン 32枚 ③10,000円クーポン 78枚

○利用者属性

年代別では、男性・女性とも30歳・40歳代の利用がもっとも多く、宿泊構成では、子供連れ、成人男女、男性一人が多かった。居住地別では、東京都、神奈川県、大阪府、愛知県からの利用が多く見受けられた。

○キャンペーンサイト（特設ページ）



(3) 観光事業者の交流の場の創出

観光事業者間の協業や、京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及・啓発を推進するため、京都信用金庫との連携協定のもと、会員をはじめとした観光事業者・従事者や大学関係者等を交えて意見交換等を行うミートアップイベントを定期的に開催した。

令和5年 7月11日	2022年度「インバウンドイノベーション京都」の成果報告と交流会
令和5年 9月1日	どうなる中国市場？コロナ禍を経た旅行・消費動向の変化
令和5年 10月18日	“世界の首都”にふさわしい？多言語表記から考えるおもてなし
令和6年 1月29日	「“売れる”体験コンテンツとは ～広島と京都における事例紹介と交流～」
令和6年 2月7日	英国の最新メディア事情と富裕層旅行トレンド

(4) インバウンド向け事業企画の支援

京都信用金庫との連携協定のもと、観光事業者によるインバウンド向け新規事業アイデア募集を通じ、京都観光行動基準（京都観光モラル）の実践等にいたる、上質な観光コンテンツの造成を支援する「インバウンドイノベーション京都」を実施。令和5年度は6社を新たに採択し、観光コンテンツの企画から販売までの伴走支援を行うと共に、市内宿泊施設や海外メディア担当者、京都市認定通訳ガイド等とのマッチングを促進し、業界の活性化や情報発信等を図った。また、京都で体験コンテンツの企画や販売、受け入れを行う上で知っておいていただきたいポイント等をまとめた「観光コンテンツ造成支援ハンドブック」を発行した。



(5) 担い手育成支援事業

観光需要の回復に伴う担い手不足を改善し、事業者の経営を支援するため、京都の観光産業で働く魅力等を発信する特設サイト「京都観光はたらくNavi」を開設し、先進的な取組を行っている事業者のインタビュー記事や、人材の確保や定着を促すための研修動画を制作した。



特設サイトのトップページ画面

さらに、コロナ禍を経た観光の回復に伴い、観光業界における担い手不足の深刻化が見込まれたことから、とりわけ厳しい環境におかれている宿泊・飲食事業者に対し、求人サイト等に求人情報を掲載するために必要となる経費の一部を支援する「宿泊・飲食事業者への求人サイト等掲載支援補助金事業」を実施した。(補助金交付：467事業者)

Ⅲ 入洛観光客に対する案内事業 (公益目的事業)

1 京都総合観光案内所「京なび」運営業務の受託

京都総合観光案内所「京なび」の運営業務を同運営協議会より受託し、年中無休（8時30分～19時）で来所者をお迎えした。文化財特別公開や年中行事、各種イベント等の観光案内の他、交通案内、当日の宿泊紹介、美術館・博物館及び交通チケットの販売等を行った。

外国人観光客には、常時3か国語（英語、中国語、韓国語）で対応するとともに、京都府域のみならず全国の観光案内・情報提供を行った。特に台風等の災害時には、交通機関の運行情報を多言語で提供した他、社寺や観光施設の開閉情報等を所内のサイネージや京都観光Navi、SNS等を通じて広く発信した。

また、これまで蓄積した相談情報をもとに、FAQサイトや新たに導入した「京なびオンライン（自動質問応答システム）」の活用を促し、スムーズかつ効率的な観光案内を推進した。

相談者総数については、日本人相談者数が前年度比83.4%と減少した一方、外国人相談者数は352%と大幅に増加したことから前年度比126.4%となった。

○京都総合観光案内所の相談状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

項目	相談者数	前年度	増減率
日本人相談者	210,177人	251,972人	83.4%
外国人相談者	187,237人	53,186人	352%
電話相談	22,508人	27,185人	82.8%
相談者総数	419,922人	332,343人	126.4%
自動カウント数	870,820人	708,977人	122.8%

*自動カウント数は相談者数を含む来所者の合計

2 観光地図の作成と配布

観光案内所における基本ツールである多言語の観光地図について、観光客の回復を踏まえ、観光協会会員から多くの広告協賛を得て作成し、京なびで配布したほか、要望に応じて市内の宿泊施設等へ提供した。

○令和5年度作成部数

日本語版 15万部 英語版 26万部

3 市内観光案内所との連携

京都駅周辺の観光案内所運営団体をメンバーとする「京都駅ホスピタリティ向上に関する検討会」を開催し、春・秋のトップシーズンにおける取組等について情報提供や意見交換を行い、観光客のみならず市民の満足度向上に向けて混雑回避や分散観光の推進に努めた。

また、ビジネスチャットツールを活用し、日々の観光情報をはじめ、台風や大雪等の災害情報、交通機関の運行情報をリアルタイムに共有し、正確かつきめ細かな情報提供を行った。

さらに、京都市が主催する「京都市内観光案内所ネットワーク会議」に参画し、各案内所と連携を深めた。

IV 観光客の利便向上を図る販売事業（収益事業等会計）

1 元離宮二条城大休憩所内店舗の運営

京都市からの受託事業として、物販コーナーとイートインコーナーを引き続き運営し、二条城限定のオリジナル商品の開発、城内イベントと連動した商品やメニューを企画し、来城者の満足度向上に努めた。

令和5年度は、観光需要の回復に伴い来城者数が増加した。レジデータや来城者数データをもとに、商品入替や陳列見直しを行う等柔軟に対応し、客層やターゲットに応じた商品を充実させた結果、売上を確保することができた。

引き続き、持続可能な観光の視点に立ち、地元産品やサステナブルをキーワードにしたオリジナル商品の取り扱いを拡充した。

2 有料出版物・乗車券・入場券等の販売

京なびにおいて、交通チケット、催事観覧券、博物館・美術館入場券、各種出版物等を販売した。様々な事業者とより一層連携し、訪日客用交通チケット等、ニーズに対応した商品の取扱拡充に努めた。

また、観光客の利便性をさらに高めるため、クレジットカードに加え、電子マネーやQRコード決済へも対応し、キャッシュレス決済を促進した。

V 観光施設等運営事業（収益事業等会計）

1 旧三井家下鴨別邸の管理運営

重要文化財施設「旧三井家下鴨別邸」の指定管理業務について、当協会（代表団体）、賀茂御祖神社（下鴨神社）、(株)曾根造園、三井不動産レジデンシャルサービス関西(株)の4者で共同事業体（コンソーシアム）を構成し、引き続き、「文化財の保存と活用のモデルとなる持続可能な施設運営」を目指して施設管理及び事業運営を行った。令和5年度から令和8年度までの新たな指定管理期間の1年度目となった令和5年度は、入館者数は前年度から減少したものの、コロナ禍に開始した「事前予約」「少人数制」

の食事プラン等の自主事業が引き続き好調であったことに加え、年中行事にまつわる京菓子や「源氏物語」等テーマ性のあるメニューを取り入れた喫茶運営が好評を得て、収益増に貢献した。

なお、下半期には、業務効率化やレジデータを活用した施設運営に向け、ポスレジ導入やキャッシュレス決済の開始によるDX化推進に着手した。

入館者数

今年度	前年度参考
50,509 人	54,995 人

VI 共催・後援・会員向け事業（収益事業等会計）

1 会員・事業者向けメールマガジンの運営

京都文化交流コンベンションビューローと共同で配信している「京都観光MICE NEWSletter」を引き続き配信し、当協会の活動予定や最新の情報を広く提供した。あわせて、会員満足度の向上を目的に「優待サービス」の紹介等を実施し、会員同士の交流や事業連携を図った。

	配信回数		配信対象者数		開封率	
	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年
京都観光 MICE NEWSletter (事業者向けメールマガジン)	47回	42回	12,453名※	15,313名	40.4% (5,031名)	32.2% (4,930名)
協会会員限定メールマガジン	30回	-	約1500社	-	32.8%	-

※未開封者のクリーニングを実施した為、前年度よりも配信対象者は減少した。

2 会員向け多言語対応支援

外国人観光客の観光消費拡大に向けた取り組みのひとつとして、令和4年度から実施する会員向け多言語コールセンターの運営を継続し、宿泊施設やサービス提供事業者をサポートした。

(1) 多言語電話通訳サービス

期 間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
通訳言語	①英語、中国語（北京語）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語 ②タイ語、中国語（広東語）、フランス語、ロシア語、ベトナム語
時 間	①24時間 ②10時～18時
利用件数	103件

(2) 多言語翻訳サービス

期 間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
翻訳言語	英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、タイ語、フランス語、イタリア語、ドイツ語
利用件数	295件

3 会報の発行

当協会の活動状況や事業報告、新入会員の紹介等を掲載する会報誌「京観協だより」を発行した（夏と冬の年2回）。

また、京都観光に関する最新情報や会員情報等、有益な情報をタイムリーに提供するため、メール配信による会員向け情報発信の充実を図った。

4 表彰

観光に携わる事業者や従業員の意識高揚を図るため、事業振興に貢献した個人及び団体を表彰した。

	被表彰者数	前年度参考
観光事業功労者	1人	1人
観光業界功労者	4人	6人
優良観光従事者	45人	37人
花街芸妓表彰	1人	2人
合計	51人	46人

5 共催・後援

京都の観光振興につながる年中行事・催事を中心に共催・後援を行い、各事業の宣伝に努めた。

共催・後援件数	前年度参考
152件	144件

VII 関係団体共同事業（収益事業等会計）

1 広域観光事業

(1) 全国京都会議

京都と全国の「小京都」と「京都ゆかりの市町」で組織している全国京都会議の事務局を運営し、広域的な観光誘致宣伝活動を実施した。令和5年度は、兵庫県たつの市での総会開催や誘致宣伝物の作成等、会員市町間で連携を図り、各市町への誘客促進と魅力発信の強化に引き続き取り組んだ。

(2) 大都市観光協会連絡協議会

政令指定都市や大都市の観光協会運営について情報交換を行った。令和5年度は21年ぶりに京都において10月5日及び6日に会議を開催し、観光法人の課題について議論や意見交換を行い、相互に魅力ある観光地づくりを推進した。

(3) 全国足利氏ゆかりの会

全国足利氏ゆかりの会に引き続き参画し、足利氏の顕彰とゆかりの地の発展のため、情報交換や交流促進に努めた。

2 京都観光施設協議会

京都市内及びその近郊の観光施設等で構成する「京都観光施設協議会」の事務局を担当し、ホームページによる施設情報発信や、京都観光推進協議会と連携した修学旅行誘致事業、旅行会社に対する誘致キャラバンの実施等、参画観光施設のPRとともに、京都への誘客事業を共同で実施した。

3 その他

関係業界団体の事業に参画し、地域経営の方針の浸透を図る。主な連携先は以下のとおり。

○情報発信の強化

- ・京都市メディア支援センター
- ・京都文化交流コンベンションビューロー
- ・京都創生推進フォーラム

○地域連携

- ・京都市地域活性化総合特別区域協議会
- ・京都岡崎魅力づくり推進協議会

○コンテンツ・イベント関連

- ・文化庁連携プラットフォーム
- ・大阪・関西万博きょうと推進委員会
- ・京都文化カプロジェクト実行委員会
- ・京都マラソン実行委員会
- ・京都学生祭典企画検討委員会
- ・京都ブランド名産品公正取引協議会
- ・京都一周トレイル会
- ・京都ソーデーウォーク実行委員会
- ・京都市温泉観光活性化協議会
- ・京都レストランスペシャル実行委員会
- ・京都映画賞実行委員会
- ・「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」京都市実行委員会

○交通

- ・「歩くまち・京都」推進会議
- ・公共交通機関でおこしやす・京都市協議会
- ・嵐山及び東山交通対策研究会
- ・京都エリア観光渋滞対策実験協議会
- ・京都市地域公共交通計画協議会

○その他

- ・観光立国推進協議会
- ・関西観光本部
- ・関西ツーリズムグランドデザイン2025策定会議

- ・京都テロ対策ネットワーク
- ・京都市まちの美化推進事業団
- ・「スローライフ京都」大作戦推進会議
- ・国民公園協会京都御苑運営協議会
- ・「伝統産業の日」実行委員会
- ・東海自然歩道連絡協会
- ・明日の京都 文化遺産プラットフォーム
- ・ITコンソーシアム京都
- ・京のアジェンダ21フォーラム
- ・伝教大師最澄1200年魅力交流委員会
- ・京都花街おもてなし文化振興協議会
- ・京都－歴史と文化発信事業推進実行委員会
- ・京都市脱炭素先行地域推進コンソーシアム
- ・鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会
- ・古典の日推進委員会
- ・京都モダン建築祭実行委員会

Ⅷ 事務報告

（令和5年度定時総会～令和6年度定時総会）

1 総会

定時総会（ウェスティン都ホテル京都） 令和5年6月14日

2 理事会

（京都ブライトンホテル） 令和6年3月22日

（ホテル日航プリンセス京都） 令和6年5月24日

3 委員会

(1) 総務企画委員会

（ホテルオークラ京都） 令和6年3月14日

（ザ・サウザンド キョウト） 令和6年5月14日

(2) 総務企画委員会JR部会

（リーガロイヤルホテル京都） 令和5年9月5日

4 決算監査会

令和6年5月22日

京都市観光協会 経営戦略 2025 経営指標の進捗について

指標	策定時基準値	令和6年3月末 時点	当初目標 (2025年度末)
市民からの理解を醸成し担い手に誇りをもたらす体験価値を定義する			
取り扱い旅行商品数	148件	356件	1,000件
行こう指数	80.8 (2021年平均)	137.3 (2023年平均)	100.0 (2019年水準)
観光業界従事者のやりがい (11段階評価の平均値)	5.17 (2022年調査)	5.67	前年越え
情報資本に投資し 知見を業界へ還元する			
FAQ ページ更新回数	0件/年	340件/年	300件/年
RevPAR (円)	3,490 (2021年平均)	13,356 (2023年平均)	14,415 (過去最高額)
メルマガ等宛先件数	2,000件	5,000件	10,000件
SNS フォロワー数	FB (日) 3.7万人	FB (日) 4.0万人	FB (日) 5.0万人
	FB (英) 50.3万人	FB (英) 49.8万人	FB (英) 60.0万人
	IG 2.6万人	IG 6.3万人	IG 4.0万人
	X 0.7万人	X 2.6万人	X 3.0万人
信頼獲得につながる実績報告を徹底する			
会員数	1,487社	1,544社	1,600社
事業規模 (円)	8.0億 (令和3年度予算)	11.5億 (令和6年度予算)	12.0億円
事業広報露出件数	38.8件/月	75.4件/月	50.0件/月

用語説明

行こう指数	京都観光の訪問意向を当協会独自のデータに基づいて指標化した数値
FAQ	よくある質問 (Frequently Asked Question)
RevPAR	客室収益指数 (= 客室稼働率 × 平均客室単価)
FB	Facebook
IG	Instagram
X	X (旧 Twitter)

人材育成

(令和5年度取組実績)

- ・ 人事評価制度の導入 (マニュアル策定、運用開始)
- ・ 観光庁DMO補助金を活用した関連研修の実施 (管理職向け、一般職員向け)

令和5年度決算

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

当期經常収益合計	1,411,431,073円
当期經常費用合計	1,310,151,548円
当期經常増減額	101,279,525円
当期經常外収益合計	0円
当期經常外費用合計	0円
当期經常外増減額	0円
税引前当期正味財産増減額	101,279,525円
法人税・住民税及び事業税	8,192,600円
当期正味財産増減額	93,086,925円

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益			
ア 特定資産受取利息	355,837	355,800	37
特定資産運用益計	355,837	355,800	37
②受取会費			
ア 受取会費	67,438,000	66,248,000	1,190,000
受取会費計	67,438,000	66,248,000	1,190,000
③事業収益			
ア 紹介宣伝事業収益	64,628,837	48,773,412	15,855,425
イ 観光振興事業収益	502,333,539	386,244,636	116,088,903
ウ 観光案内事業収益	89,976,455	78,275,275	11,701,180
エ 販売事業収益	284,139,779	156,996,880	127,142,899
オ 観光施設等運営事業収益	29,585,044	24,933,088	4,651,956
カ 関係団体等共同事業収益	540,000	540,000	0
事業収益計	971,203,654	695,763,291	275,440,363
④受取補助金等			
ア 受取京都市補助金	292,114,000	304,902,000	▲ 12,788,000
イ 受取国庫補助金	80,156,359	37,709,508	42,446,851
ウ 受取京都府補助金	0	1,052,371	▲ 1,052,371
受取補助金等計	372,270,359	343,663,879	28,606,480
⑤受取負担金			
ア 受取負担金	0	26,975	▲ 26,975
受取負担金計	0	26,975	▲ 26,975
⑥雑収益			
ア 雑収益	163,223	1,174,901	▲ 1,011,678
雑収益計	163,223	1,174,901	▲ 1,011,678
経常収益計	1,411,431,073	1,107,232,846	304,198,227
(2) 経常費用			
①事業費			
ア 役員報酬	2,782,387	2,689,225	93,162
イ 給料手当	170,399,330	163,062,447	7,336,883
ウ 臨時雇賃金	62,348,529	56,500,250	5,848,279
エ 退職給付費用	8,563,461	11,049,560	▲ 2,486,099
オ 賞与引当金繰入額	14,865,481	13,759,078	1,106,403
カ 法定福利費	42,382,821	41,206,796	1,176,025
キ 法定外福利費	1,684,425	24,310	1,660,115

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
ク 会 議 費	475,670	293,308	182,362
ケ 旅 費 交 通 費	9,442,367	5,634,555	3,807,812
コ 通 信 運 搬 費	13,472,405	10,980,392	2,492,013
サ 減 価 償 却 費	2,287,551	2,895,794	▲ 608,243
シ 消 耗 什 器 備 品 費	1,759,562	2,247,128	▲ 487,566
ス 消 耗 品 費	15,498,898	13,675,176	1,823,722
セ 修 繕 費	5,390	28,600	▲ 23,210
ソ 印 刷 製 本 費	30,565,074	17,309,341	13,255,733
タ 報 奨 費	0	30,000	▲ 30,000
チ 光 熱 水 料 費	4,355,871	3,456,696	899,175
ツ 使 用 料 及 び 賃 借 料	50,813,735	36,398,674	14,415,061
テ 保 険 料	3,846,305	2,808,158	1,038,147
ト 諸 謝 金	1,135,907	1,207,567	▲ 71,660
ナ 研 修 費	872,183	155,500	716,683
ニ 支 払 分 担 金	81,358,305	61,179,781	20,178,524
ヌ 租 税 公 課	33,653,588	35,165,955	▲ 1,512,367
ネ 諸 会 費	2,816,750	2,582,840	233,910
ノ 支 払 負 担 金	40,137,000	107,524,239	▲ 67,387,239
ハ 支 払 助 成 金	30,670,000	31,940,000	▲ 1,270,000
ヒ 支 払 寄 付 金	3,600,000	0	3,600,000
フ 委 託 費	433,999,340	272,847,278	161,152,062
ヘ 広 告 宣 伝 費	21,582,764	27,541,719	▲ 5,958,955
ホ 販 売 促 進 費	11,653,055	8,366,705	3,286,350
マ 手 数 料	25,592,576	18,476,786	7,115,790
ミ 交 際 費	383,290	392,030	▲ 8,740
ム 雑 費	877,246	952,776	▲ 75,530
メ 為 替 差 損	10,224	47,340	▲ 37,116
モ 商 品 仕 入	146,985,832	78,203,521	68,782,311
事 業 費 計	1,270,877,322	1,030,633,525	240,243,797
②管 理 費			
ア 役 員 報 酬	429,152	448,801	▲ 19,649
イ 給 料 手 当	8,832,267	8,413,465	418,802
ウ 臨 時 雇 賃 金	1,861,887	1,964,643	▲ 102,756
エ 退 職 給 付 費 用	446,539	580,440	▲ 133,901
オ 賞 与 引 当 金 繰 入 額	770,519	709,922	60,597
カ 法 定 福 利 費	2,631,196	2,460,387	170,809
キ 法 定 外 福 利 費	1,250,854	1,047,188	203,666
ク 会 議 費	3,428,140	2,745,250	682,890
ケ 旅 費 交 通 費	181,660	107,900	73,760
コ 通 信 運 搬 費	1,878,873	1,806,353	72,520
サ 減 価 償 却 費	1,406,621	2,323,673	▲ 917,052
シ 消 耗 什 器 備 品 費	370,920	0	370,920
ス 消 耗 品 費	914,175	1,038,733	▲ 124,558
セ 印 刷 製 本 費	384,230	414,700	▲ 30,470
ソ 報 奨 費	31,900	20,350	11,550
タ 光 熱 水 料 費	126,678	150,157	▲ 23,479
チ 使 用 料 及 び 賃 借 料	2,671,836	2,624,691	47,145

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
ツ 保 険 料	434,050	391,480	42,570
テ 諸 謝 金	477,255	431,055	46,200
ト 研 修 費	52,417	16,500	35,917
ナ 支 払 分 担 金	3,000,000	3,000,000	0
ニ 租 税 公 課	289,782	373,661	▲ 83,879
ヌ 諸 会 費	2,022,200	2,026,200	▲ 4,000
ネ 支 払 寄 付 金	100,000	0	100,000
ノ 委 託 費	2,403,981	2,516,218	▲ 112,237
ハ 手 数 料	1,386,164	1,303,494	82,670
ヒ 交 際 費	614,268	494,950	119,318
フ 雑 費	876,662	582,230	294,432
管 理 費 計	39,274,226	37,992,441	1,281,785
経 常 費 用 計	1,310,151,548	1,068,625,966	241,525,582
当 期 経 常 増 減 額	101,279,525	38,606,880	62,672,645
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 雑 収 益			
ア その他収益	0	2,769,448	▲ 2,769,448
経常外収益計	0	2,769,448	▲ 2,769,448
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	2,769,448	▲ 2,769,448
税引前当期一般正味財産増減額	101,279,525	41,376,328	59,903,197
法人税・住民税及び事業税	8,192,600	3,145,600	5,047,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	93,086,925	38,230,728	54,856,197
一般正味財産期首残高	490,064,118	451,833,390	38,230,728
一般正味財産期末残高	583,151,043	490,064,118	93,086,925
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	583,151,043	490,064,118	93,086,925

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位 円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計					小 計	法人会計	内部取引消去	合 計		
	観光都市京都の紹介宣伝事業	京都ブランドの向上を目指す観光振興事業	入浴観光客に対する観光案内事業	共通	小 計	観光客の利便向上を図る販売事業	観光施設等運営事業	共催・後援・会員向け事業	関係団体等共同事業	共通					小 計	
																0
I 一般正味財産増減の部																
1. 経常増減の部																
(1) 経常収益																
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	355,837
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	355,837
受取会費	6,522,100	13,044,200	13,044,200	0	32,610,500	2,217,000	0	3,261,050	3,261,050	0	8,739,100	26,088,400	0	0	0	67,438,000
事業収益	64,628,837	502,333,539	89,976,455	0	656,938,831	284,139,779	29,585,044	0	540,000	0	314,264,823	0	0	0	0	971,203,654
紹介宣伝事業収益	64,628,837	0	0	0	64,628,837	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64,628,837
観光振興事業収益	0	502,333,539	0	0	502,333,539	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	502,333,539
観光案内事業収益	0	0	89,976,455	0	89,976,455	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89,976,455
販売事業収益	0	0	0	0	0	284,139,779	0	0	0	0	284,139,779	0	0	0	0	284,139,779
観光施設等運営事業収益	0	0	0	0	0	0	29,585,044	0	0	0	29,585,044	0	0	0	0	29,585,044
関係団体等共同事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	540,000	0	540,000	0	0	0	0	540,000
受取補助金等	118,207,235	216,606,403	4,331,841	0	339,145,479	4,398,645	1,690,000	1,268,000	1,268,000	0	8,624,645	24,500,235	0	0	0	372,270,359
受取京都市補助金	110,862,000	144,149,000	4,224,000	0	259,235,000	4,224,000	1,690,000	1,268,000	1,268,000	0	8,450,000	24,429,000	0	0	0	292,114,000
受取国庫補助金	7,345,235	72,457,403	107,841	0	79,910,479	174,645	0	0	0	0	174,645	71,235	0	0	0	80,156,359
雑収益	0	28,271	50,655	0	78,926	33,397	0	0	0	0	33,397	50,900	0	0	0	163,223
雑収益	0	28,271	50,655	0	78,926	33,397	0	0	0	0	33,397	50,900	0	0	0	163,223
経常収益計	189,358,172	732,012,413	107,403,151	0	1,028,773,736	290,788,821	31,275,044	4,529,050	5,069,050	0	331,661,965	50,995,372	0	0	0	1,411,431,073
(2) 経常費用																
事業費	184,254,137	715,961,978	107,434,007	0	1,007,650,122	217,746,662	34,789,350	7,175,941	3,515,247	0	263,227,200	0	0	0	0	1,270,877,322
役員報酬	772,885	1,545,770	154,577	0	2,473,232	123,662	61,831	61,831	61,831	0	309,155	0	0	0	0	2,782,387
給料手当	27,374,864	82,571,317	27,076,717	0	137,022,898	15,462,513	16,298,782	760,631	854,506	0	33,376,432	0	0	0	0	170,399,330
臨時雇賃金	0	2,144,697	39,487,503	0	41,632,200	10,515,732	10,200,597	0	0	0	20,716,329	0	0	0	0	62,348,529
退職給付費用	1,046,277	4,648,930	1,649,791	0	7,344,998	461,506	693,165	38,275	25,517	0	1,218,463	0	0	0	0	8,563,461
賞与引当金繰入額	2,388,158	7,203,446	2,362,148	0	11,953,752	1,348,935	1,421,891	66,357	74,546	0	2,911,729	0	0	0	0	14,865,481
法定福利費	6,156,818	19,249,004	7,976,272	0	33,382,094	4,227,033	4,264,521	245,229	263,944	0	9,000,727	0	0	0	0	42,382,821
法定外福利費	0	0	1,684,425	0	1,684,425	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,684,425
会議費	206,254	269,416	0	0	475,670	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	475,670
旅費交通費	8,156,108	1,186,379	2,300	0	9,344,787	0	0	0	97,580	0	97,580	0	0	0	0	9,442,367
通信運搬費	679,410	10,802,118	554,375	0	12,035,903	218,221	0	1,218,029	252	0	1,436,502	0	0	0	0	13,472,405
減価償却費	0	1,057,854	312,521	0	1,370,375	917,176	0	0	0	0	917,176	0	0	0	0	2,287,551

科	目	公益目的事業会計				収益事業等会計						小計	法人会計	内部取引消去	合計
		共通		小計		観光客の 利便向上を図る 販売事業	観光施設等 運営事業	共催・後援・ 会員向け事業	関係団体等 共同事業	共通	小計				
		観光都市京都の 紹介宣伝事業	京都ブランドの 向上を目指す 観光振興事業	入浴観光客に 対する観光 案内事業	共通										
消耗什器備品費	36,212	871,970	284,000	0	1,192,182	567,380	0	0	0	0	567,380	0	0	0	1,759,562
消耗品費	724,161	11,577,586	1,626,812	0	13,928,559	1,546,990	0	23,349	0	0	1,570,339	0	0	0	15,498,898
修繕費	0	5,390	0	0	5,390	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,390
印刷製本費	1,231,175	18,157,349	10,518,200	0	29,906,724	297,000	0	361,350	0	0	658,350	0	0	0	30,565,074
光熱水料費	449,563	984,288	1,652,524	0	3,086,375	1,269,496	0	0	0	0	1,269,496	0	0	0	4,355,871
使用料及び賃借料	7,322,163	26,031,429	2,797,230	0	36,150,822	14,662,913	0	0	0	0	14,662,913	0	0	0	50,813,735
保険料	77,660	3,748,645	20,000	0	3,846,305	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,846,305
諸謝金	0	1,083,907	0	0	1,083,907	52,000	0	0	0	0	52,000	0	0	0	1,135,907
研究費	188,518	406,463	103,915	0	698,896	173,287	0	0	0	0	173,287	0	0	0	872,183
支払分担金	662,632	78,295,673	2,400,000	0	81,358,305	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81,358,305
租税公課	2,243,704	17,020,438	3,012,757	0	22,276,899	1,848,563	0	18,071	0	0	11,376,689	0	0	0	33,653,588
諸会費	1,800,000	541,750	0	0	2,341,750	0	0	0	475,000	0	475,000	0	0	0	2,816,750
支払負担金	4,000,000	30,769,000	0	0	34,769,000	0	0	3,748,000	1,620,000	0	5,368,000	0	0	0	40,137,000
支払助成金	0	30,390,000	0	0	30,390,000	0	0	280,000	0	0	280,000	0	0	0	30,670,000
支払寄付金	0	1,100,000	0	0	1,100,000	2,500,000	0	0	0	0	2,500,000	0	0	0	3,600,000
委託費	109,563,396	318,539,431	3,623,048	0	431,725,875	2,273,465	0	0	0	0	2,273,465	0	0	0	433,999,340
広告宣伝費	8,903,700	12,434,851	0	0	21,338,551	244,213	0	0	0	0	244,213	0	0	0	21,582,764
販売促進費	0	11,653,055	0	0	11,653,055	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,653,055
手数料	141,200	21,047,195	23,925	0	21,212,320	4,380,256	0	0	0	0	4,380,256	0	0	0	25,592,576
交際費	119,055	624,627	110,967	0	854,649	8,997	0	359,290	24,000	0	383,290	0	0	0	383,290
雑費	10,224	0	0	0	10,224	0	0	13,600	0	0	22,597	0	0	0	877,246
為替差損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,224
商品仕入	0	0	0	0	0	146,985,832	0	0	0	0	146,985,832	0	0	0	146,985,832
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39,274,226	0	39,274,226
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	429,152	0	429,152
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,832,267	0	8,832,267
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,861,887	0	1,861,887
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	446,539	0	446,539
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	770,519	0	770,519
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,631,196	0	2,631,196
法定外福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,250,854	0	1,250,854
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,428,140	0	3,428,140
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	181,660	0	181,660
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,878,873	0	1,878,873
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,406,621	0	1,406,621
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	370,920	0	370,920
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	914,175	0	914,175
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	384,230	0	384,230
報奨費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31,900	0	31,900

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計						小 計	法人会計	内部取引消去	合 計	
	小 計		共 通		観光客の 利便向上を図る 販売事業	観光施設等 運営事業	共催・後援・ 会員向け事業	関係団体等 共同事業	共 通						
	京都市京島の 観光振興事業 向上を目指す 観光事業	入浴観光客に 対する観光 案内事業	観 光 客 の 利 便 上 向 を 図 る 販 売 事 業	観 光 施 設 等 運 営 事 業						共 催 ・ 後 援 ・ 会 員 向 け 事 業					関 係 団 体 等 共 同 事 業
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126,678
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,671,836
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	434,050
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	477,255
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52,417
支分金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289,782
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,022,200
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,403,981
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,386,164
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	614,268
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	876,662
経常費用計	184,254,137	715,961,978	107,434,007	0	1,007,650,122	217,746,662	34,789,350	7,175,941	3,515,247	0	263,227,200	39,274,226	0	0	1,310,151,548
当期経常増減額	5,104,035	16,050,435	▲ 30,856	▲ 30,856	21,123,614	73,042,159	▲ 3,514,306	▲ 2,646,891	1,553,803	0	68,434,765	11,721,146	0	0	101,279,525
2. 経常外増減の部															
(1) 経常外収益															
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用															
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	30,861,837	30,861,837	0	0	0	0	▲ 30,861,837	0	0	0	0
前期当一般正味財産増減額	5,104,035	16,050,435	▲ 30,856	▲ 30,856	51,985,451	73,042,159	▲ 3,514,306	▲ 2,646,891	1,553,803	0	37,572,928	11,721,146	0	0	101,279,525
法人税・住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,192,600	0	0	0	8,192,600
当期一般正味財産増減額	5,104,035	16,050,435	▲ 30,856	▲ 30,856	51,985,451	73,042,159	▲ 3,514,306	▲ 2,646,891	1,553,803	0	29,380,328	11,721,146	0	0	93,086,925
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	58,725,675	0	0	0	0	0	189,361,621	241,976,822	0	0	490,064,118
一般正味財産期末残高	5,104,035	16,050,435	▲ 30,856	▲ 30,856	110,711,126	73,042,159	▲ 3,514,306	▲ 2,646,891	1,553,803	0	218,741,949	253,697,968	0	0	583,151,043
II 指定正味財産増減の部															
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,104,035	16,050,435	▲ 30,856	▲ 30,856	110,711,126	73,042,159	▲ 3,514,306	▲ 2,646,891	1,553,803	0	218,741,949	253,697,968	0	0	583,151,043

経常費用内訳表

(単位：円)

科目	事業費						管理費	経常費用 合計
	公益目的事業会計		収益事業等会計					
会計区分	観光都市京都の 紹介宣伝事業	京都ブランドの 向上を目指す 観光振興事業	入浴観光客 に対する観光 案内事業	観光客の 利便向上を図る 販売事業	観光施設等 運営事業	共催・後援・ 会員向け事業	関係団体等 共同事業	法人会計
令和5年度	184,254,137	715,961,978	107,434,007	217,746,662	34,789,350	7,175,941	3,515,247	39,274,226
令和4年度	132,791,457	622,466,645	102,252,464	128,118,208	33,736,977	5,922,084	5,345,690	37,992,441
増減	51,462,680	93,495,333	5,181,543	89,628,454	1,052,373	1,253,857	▲1,830,443	1,281,785
								1,310,151,548
								1,068,625,966
								241,525,582

上記金額のうち、人件費(※) (単位：円)

	事業費	管理費	人件費合計
令和5年度	301,342,009	14,971,560	316,313,569
令和4年度	288,267,356	14,577,658	302,845,014
増減	13,074,653	393,902	13,468,555

※人件費…役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、退職給付費用、賞与引当金繰入額、法定福利費を足したものの

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金手許有高	7,135,000	7,105,000	30,000
普通預金	434,034,093	295,088,879	138,945,214
普通貯金	4,173	37,117	▲ 32,944
現金預金合計	441,173,266	302,230,996	138,942,270
(2) その他流動資産			
未収会費	1,922,000	2,501,000	▲ 579,000
未収金	126,894,478	169,140,570	▲ 42,246,092
前払金	61,489	458,096	▲ 396,607
立替金	14,904,723	16,545,696	▲ 1,640,973
商品	10,877,683	4,235,411	6,642,272
その他流動資産合計	154,660,373	192,880,773	▲ 38,220,400
流動資産合計	595,833,639	495,111,769	100,721,870
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	100,789,000	91,779,000	9,010,000
減価償却引当資産	27,863,000	24,169,000	3,694,000
事業運営基金積立資産	140,000,000	140,000,000	0
設立70周年記念事業準備資金	15,500,000	5,500,000	10,000,000
事務所移転費用準備資金	4,500,000	4,500,000	0
専門職員雇用準備資金	30,000,000	0	30,000,000
特定資産合計	318,652,000	265,948,000	52,704,000
(2) その他固定資産			
器具備品	4,861,686	5,990,662	▲ 1,128,976
電話加入権	160,600	160,600	0
旅行業営業保証供託金	3,000,000	3,000,000	0
出資金	300,000	300,000	0
建物付属設備	829,045	1,184,656	▲ 355,611
構築物等	10,725,354	11,492,656	▲ 767,302
一括償却資産	574,567	176,000	398,567
その他固定資産合計	20,451,252	22,304,574	▲ 1,853,322
固定資産合計	339,103,252	288,252,574	50,850,678
資産合計	934,936,891	783,364,343	151,572,548

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	180,969,649	127,335,957	53,633,692
未払消費税等	9,224,600	23,208,100	▲ 13,983,500
未払法人税等	8,192,600	3,145,600	5,047,000
賞与引当金	15,636,000	14,469,000	1,167,000
預り金	11,231,641	10,441,103	790,538
前受金	2,578,000	598,000	1,980,000
受託販売	23,164,358	22,323,465	840,893
流動負債合計	250,996,848	201,521,225	49,475,623
2. 固定負債			
退職給付引当金	100,789,000	91,779,000	9,010,000
固定負債合計	100,789,000	91,779,000	9,010,000
負債合計	351,785,848	293,300,225	58,485,623
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	583,151,043	490,064,118	93,086,925
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(217,863,000)	(174,169,000)	(43,694,000)
正味財産合計	583,151,043	490,064,118	93,086,925
負債及び正味財産合計	934,936,891	783,364,343	151,572,548

貸借対照表内訳表

令和6年3月31日現在

(単位 円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
(1) 現金預金					
現金手許有高	3,150,000	3,785,000	200,000	0	7,135,000
普通預金	112,602,276	188,545,853	132,885,964	0	434,034,093
普通貯金	0	0	4,173	0	4,173
現金預金合計	115,752,276	192,330,853	133,090,137	0	441,173,266
(2) その他流動資産					
未収会費	961,000	192,200	768,800	0	1,922,000
未収金	93,134,449	33,760,029	0	0	126,894,478
前払金	61,489	0	0	0	61,489
立替金	14,860,408	44,315	0	0	14,904,723
商品	0	10,877,683	0	0	10,877,683
その他流動資産合計	109,017,346	44,874,227	768,800	0	154,660,373
流動資産合計	224,769,622	237,205,080	133,858,937	0	595,833,639
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
退職給付引当資産	81,072,978	15,002,189	4,713,833	0	100,789,000
減価償却引当資産	9,432,000	11,641,000	6,790,000	0	27,863,000
事業運営基金積立資産	0	0	140,000,000	0	140,000,000
設立70周年記念事業準備資金	15,500,000	0	0	0	15,500,000
事務所移転費用準備資金	4,500,000	0	0	0	4,500,000
専門職員雇用準備資金	30,000,000	0	0	0	30,000,000
特定資産合計	140,504,978	26,643,189	151,503,833	0	318,652,000
(2) その他固定資産					
器具備品	1,233,472	1,014,659	2,613,555	0	4,861,686
電話加入権	0	0	160,600	0	160,600
旅行業営業保証供託金	3,000,000	0	0	0	3,000,000
出資金	300,000	0	0	0	300,000
建物付属設備	312,522	0	516,523	0	829,045
構築物等	0	10,725,354	0	0	10,725,354
一括償却資産	436,700	53,534	84,333	0	574,567
その他固定資産合計	5,282,694	11,793,547	3,375,011	0	20,451,252
固定資産合計	145,787,672	38,436,736	154,878,844	0	339,103,252
資産合計	370,557,294	275,641,816	288,737,781	0	934,936,891
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	140,767,289	13,831,211	26,371,149	0	180,969,649

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
未払消費税等	6,237,093	2,983,642	3,865	0	9,224,600
未払法人税等	0	8,192,600	0	0	8,192,600
賞与引当金	11,953,752	2,911,729	770,519	0	15,636,000
預り金	0	8,339,194	2,892,447	0	11,231,641
前受金	2,290,000	0	288,000	0	2,578,000
受託販売	17,525,056	5,639,302	0	0	23,164,358
流動負債合計	178,773,190	41,897,678	30,325,980	0	250,996,848
2. 固定負債					
退職給付引当金	81,072,978	15,002,189	4,713,833	0	100,789,000
固定負債合計	81,072,978	15,002,189	4,713,833	0	100,789,000
負債合計	259,846,168	56,899,867	35,039,813	0	351,785,848
Ⅲ 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	110,711,126	218,741,949	253,697,968	0	583,151,043
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(59,432,000)	(11,641,000)	(146,790,000)	(0)	(217,863,000)
正味財産合計	110,711,126	218,741,949	253,697,968	0	583,151,043
負債及び正味財産合計	370,557,294	275,641,816	288,737,781	0	934,936,891

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
原価法（購入価額）による。
取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいため、償却原価法は採用していない。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品の評価基準は原価法によっている。また、評価方法は先入先出法による。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却は、建物附属設備及び構築物等は定額法による。器具備品は定率法による。
帳簿価格として残存する5%相当額は、5年均等償却としている。
なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法による。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金は、当年度末における自己都合要支給額に基づき計上している。
賞与引当金は、職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法について
通常の賃貸借取引による。
- (6) 消費税等の会計処理について
消費税の会計処理は、税込み方式による。

2. 特定資産の増減額及びその残高 (単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	91,779,000	9,010,000	0	100,789,000
減価償却引当資産	24,169,000	3,694,000	0	27,863,000
事業運営基金積立資産	140,000,000	0	0	140,000,000
設立70周年記念事業準備資金	5,500,000	10,000,000	0	15,500,000
事務所移転費用準備資金	4,500,000	0	0	4,500,000
専門職員雇用準備資金	0	30,000,000	0	30,000,000
合 計	265,948,000	52,704,000	0	318,652,000

3. 特定資産の財源等の内訳 (単位 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	100,789,000	(0)	(0)	(100,789,000)
減価償却引当資産	27,863,000	(0)	(27,863,000)	—
事業運営基金積立資産	140,000,000	(0)	(140,000,000)	—
設立70周年記念事業準備資金	15,500,000	(0)	(15,500,000)	—
事務所移転費用準備資金	4,500,000	(0)	(4,500,000)	—
専門職員雇用準備資金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	—
合 計	318,652,000	(0)	(217,863,000)	(100,789,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (単位 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	22,314,710	17,453,024	4,861,686
建物附属設備	3,928,360	3,099,315	829,045
構築物等	22,291,600	11,566,246	10,725,354
一括償却資産	993,850	419,283	574,567
合 計	49,528,520	32,537,868	16,990,652

5. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価および評価損益 (単位 円)

科 目	帳簿価額	時 価	評 価 損 益
市 債			
京都市公募公債	100,000,000	86,750,000	▲ 13,250,000
合 計	100,000,000	86,750,000	▲ 13,250,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高 (単位 円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
オール京都の観光振興体制づくり推進事業補助金	京都市	0	292,084,000	292,084,000	0	
京都市中小企業等物価高騰対策支援金	京都市	0	30,000	30,000	0	
先進的な広域周遊観光促進支援事業に係る補助金	観光庁	0	54,094,615	54,094,615	0	
世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業に係る補助金	観光庁	0	23,601,707	23,601,707	0	
観光地域づくり法人の体制強化に係る補助金(人事評価制度導入研修)	観光庁	0	971,183	971,183	0	
観光地域づくり法人の体制強化に係る補助金(訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金)	観光庁	0	934,594	934,594	0	
観光地域づくり法人の体制強化に係る補助金(研修・セミナー等の受講)	観光庁	0	10,760	10,760	0	
ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業補助金	国土交通省	0	543,500	543,500	0	
合 計		0	372,270,359	372,270,359	0	

7. その他

引当金の明細

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	91,779,000	9,010,000	0	0	100,789,000
賞与引当金	14,469,000	15,636,000	14,469,000	0	15,636,000
合 計	106,248,000	24,646,000	14,469,000	0	116,425,000

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	現金手許有高普通預金	手許保管預金	7,135,000
		三菱UFJ銀行聖護院支店	296,728,809
		三菱UFJ銀行京都支店	31,922,595
		京都銀行本店	19,533,299
		京都中央信用金庫東山支店	484,052
		京都信用金庫祇園支店	85,365,338
	普通貯金	貯金	4,173
		京都ゼスト御池内郵便局	
その他流動資産	未収会費	観光協会会費の未収額	1,922,000
	未収金	受託金等の未収額	126,894,478
	前払金	使用料等の前払金	61,489
	立替金	冬の旅施設利用料等の立替額	14,904,723
	商品	収益事業(二条城売店等)での販売商品	10,877,683
流動資産合計			595,833,639
(固定資産)			
特定資産	退職給付引当資産	普通預金	25,000,000
		京都信用金庫祇園支店	75,789,000
		京都銀行本店	
	減価償却引当資産	普通預金	27,863,000
		三菱UFJ銀行京都支店	
	事業運営基金積立資産	定期預金	10,000,000
		京都中央信用金庫東山支店	10,000,000
		三菱UFJ銀行聖護院支店	10,000,000
		京都銀行本店	10,000,000
		京都信用金庫祇園支店	10,000,000
		京都市債	100,000,000
		SMBC日興証券京都支店	
	設立70周年記念事業準備資金	普通預金	5,500,000
		三菱UFJ銀行京都支店	10,000,000
		三菱UFJ銀行聖護院支店	
	事務所移転費用準備資金	普通預金	4,500,000
		三菱UFJ銀行京都支店	
	専門職員雇用準備資金	普通預金	30,000,000
		三菱UFJ銀行聖護院支店	
その他固定資産	器具備品	折りたたみ椅子(観覧席用)	80,104
		ライブカメラ	1,153,368
		両替機等(二条城売店)	1,014,659
		その他備品	2,613,555

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他 固定資産	電話加入権	電話加入権	法人管理のため保有	160,600
	旅行業営業 保証供託金	旅行業営業保証供託金	公益目的事業実施のため保有	3,000,000
	出資金	合同会社KICS出資金	公益目的事業実施のため保有	300,000
	建物付属設備	ポータブル蓄電システム（観光案内） 電気設備工事	公益目的事業実施のため保有 法人管理のため保有	312,522 516,523
	構築物等	構築物等（二条城売店）	収益事業実施のため保有	10,725,354
	一括償却資産	可動式什器（二条城売店）	収益事業実施のため保有	53,534
		パブリック液晶ディスプレイ	公益目的事業実施のため保有	34,466
		ライブカメラ	公益目的事業実施のため保有	183,334
		55型4Kディスプレイ	公益目的事業実施のため保有	218,900
		web会議デバイス360度カメラ	法人管理のため保有	84,333
固定資産合計				339,103,252
資産合計				934,936,891
(流動負債)	未払金	人件費、業務委託料等の未払額	人件費、年間契約の業務委託料等	180,969,649
	未払消費税等	消費税等の未払額	消費税等	9,224,600
	未払法人税等	法人税等の未払額	法人税等	8,192,600
	賞与引当金	職員に対するもの	次年度の賞与支給に備えたもの	15,636,000
	預り金	二条城売店の売上、源泉所得税等の預り額	二条城売店の売上、源泉所得税等	11,231,641
	前受金	会費等	次年度の会費等	2,578,000
	受託販売	市バス乗車券等の受託販売	受託金	23,164,358
流動負債合計				250,996,848
(固定負債)	退職給付 引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	100,789,000
固定負債合計				100,789,000
負債合計				351,785,848
正味財産				583,151,043

写

監 査 報 告 書

令和 6 年 5 月 22 日

公益社団法人京都市観光協会
会 長 田 中 誠 二 殿

公益社団法人京都市観光協会

監 事 荒 木 茂 生 ⑩

監 事 高 津 靖 史 ⑩

監 事 兒 島 宏 尚 ⑩

監 事 籾 下 誠 ⑩

私たち監事は、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの令和 5 年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、法人事業所において、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6年度事業計画

令和5年5月8日にコロナの感染症法上の位置づけが5類に分類されて以降、順次感染症対策や水際対策が緩和。国内旅行、修学旅行、インバウンド等の再開により、当協会が発表する12月の京都市内主要ホテル110施設の稼働率は76.7%（内外国人比率は47.7%）まで上昇し、コロナ禍以降、初めて2019年同月の水準を上回った。

また、日本政府観光局（JNTO）によると、訪日外客数は右肩上がりですぐ急回復を遂げ、2023年の年間訪日外客数は2,500万人を突破した。さらに、12月の単月では2019年同月比108.2%となる273.4万人とコロナ拡大後で単月過去最多となるとともに、12月として過去最高を記録した。

観光の回復が顕著に現れる一方、これにより、一部の観光地や公共交通機関等の混雑、観光客のマナー問題といった観光課題が生じている。

また、コロナ禍を経て担い手不足が深刻化し、事業活動が十分に展開できない等の課題も生じている。

令和6年度は、コロナ禍後初めて一年を通してコロナの影響を受けない年度となる。さらに、円安の進行等国際的な要因もあり、インバウンドを中心に観光客の増加傾向が続くと見込んでいる。こうした状況を踏まえ、京都観光モラルの啓発や事業者支援に取り組む。また、令和6年度は「古都京都の文化財」の世界文化遺産の登録30周年や、目前に迫る大阪・関西万博といった機会を捉え、文化と観光の融合による高付加価値な観光コンテンツの開発や関係各所と連携した事業を展開する。

また、持続可能で国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを目指す「先駆的DMO」として、京都観光の課題対策と観光振興の両面を踏まえ、府市連携をはじめ広域的な視点もこれまで以上に取り入れ、会員の皆様と共に引き続き「持続可能な京都観光」の実現を目指す。

計画方針① 観光課題対策

京都観光の回復に伴い、一部の観光地や公共交通機関等に観光客の集中と混雑が生じている。

市民生活との調和、環境・景観への配慮や、災害への対応などの行動基準を示す「京都観光モラル」の啓発を引き続き実施し、その理解と実践の促進を図る。また、マナー啓発については、印刷物、ウェブサイト・SNSを活用した情報発信を強化する。

さらに、混雑・分散化対策としては、ライブカメラや観光快適度マップなどによる混雑可視化や「手ぶら観光」をより推進するため、手荷物預かりや配送サービスに関する情報発信に取り組むほか、「とっておきの京都」をはじめとした場所の分散化や、「朝・夜観光」の推進による時間の分散化にも関係者と連携し取り組む。

【主な取組】

京都観光公式WEBサイト「京都観光Navi」の運営、多言語サイト「Kyoto City Official Travel Guide」の運営、SNSを活用した情報発信、京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及啓発、マナー啓発、混雑可視化による分散化、手ぶら観光の推進、多様なエリアの魅力発掘・発信（場所の分散化）、朝観光・夜観光の推進（時間の分散化）

計画方針② 事業者支援

担い手不足や物価の高騰など、宿泊事業者をはじめ観光事業者を取り巻く環境は依然として厳しい。担い手不足への支援として、京都の観光産業で働く魅力や求人の情報など、人材の確保や定着につながる発信に取り組む。

厳しい経営を余儀なくされている飲食事業者には、顧客の来店促進や業務改善等に資する伴走支援を実施する。

また、観光事業者・従事者を交えて意見交換等を行うイベントを企画し、事業者間での交流の場を創出する。

【主な取組】

外国語案内表記の実態把握及び改善支援、買物環境整備・キャッシュレス促進、宿泊施設魅力発信事業の実施、飲食店経営改善サポート事業、観光事業者の交流の場の創出、インバウンド向け事業企画の支援、宿泊事業者等の担い手確保等支援事業

計画方針③ 文化・観光の融合と情報発信の強化

世界文化遺産の登録30周年を迎える「古都京都の文化財」をテーマに、「京の夏の旅」「京の冬の旅」において特別公開を実施するなど付加価値の高い観光コンテンツの開発に文化庁などとも連携し取り組む。

また、会員事業者をはじめとした観光事業者との連携により、文化財等の拝観・鑑賞だけでなく、体験、食、伝統産業等の特色に溢れた文化資源を活用し多種多様な付加価値のあるコンテンツを開発するなど、文化と観光の融合をさらに推進し、京都ならではの「文化観光」モデルの構築と、その発信を強化する。

【主な取組】

「京都 千年の心得」をはじめとした京都ならではの観光コンテンツの拡充、京の夏の旅・冬の旅キャンペーン、三大祭観覧席設置事業、伝統行事執行補助、京の食文化魅力発信事業、「びわ湖疏水船」を運航する琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会の運営、重要文化財施設「旧三井家下鴨別邸」の管理運営

計画方針④ 世界水準のDMOを目指す「先駆的DMO」としての取組推進

観光庁から認定されて2年目を迎える、世界水準のDMOを目指す「先駆的DMO」として、国内外から模範とされる組織運営を推進するべく、観光庁とも連携した事業を展開する。

特に、観光がもたらす地域経済への貢献度の評価や改善支援、外国人観光客向けの体験商品の開発、事前予約型の体験商品の販売強化をはじめとした安定財源の確保などに取り組む。

【主な取組】

外国語案内表記の実態把握及び改善支援、リピーター開発につながるDXの推進、観光事業者の交流の場の創出、三大祭観覧席における高付加価値席の設定

<実施事業詳細>

I 観光都市京都の紹介宣伝事業（公益目的事業会計）

1 情報発信の充実

(1) 京都観光公式WEBサイト「京都観光Navi」の運営

公式サイトならではの豊富な情報を引き続き発信し、京都観光が初めての観光客からリピーターまで、幅広い方々が必要とする情報にアクセスできるよう、ウェブサイトの運営を行う。

- ① 観光イベントの開催・中止情報
- ② 文化財特別公開、三大祭有料観覧席等の主催事業に関する情報
- ③ 季節の開花・紅葉情報
- ④ 主要観光地への交通手段及び企画乗車券に関する情報
- ⑤ 主要観光地における混雑状況及び混雑予測情報
- ⑥ マナー啓発や需要分散化等、観光課題解決を目的とした事業に関する情報
- ⑦ 災害時の緊急情報等の安心・安全に関わる情報
- ⑧ 民間メディアが発信する京都観光関連情報を、ユーザーが検索できる機能
- ⑨ 京都総合観光案内所等に寄せられる観光相談を踏まえた「よくある質問」

(2) 多言語サイト「Kyoto City Official Travel Guide」の運営

海外における京都観光の情報プラットフォームとして、英語を中心に多言語（フランス語、中国語簡体字、中国語繁体字、ハングル、スペイン語）でウェブサイトを展開し公式サイトならではの情報を発信する。

- ① 観光イベントの開催・中止情報
- ② 京都ならではの質の高い体験商品を紹介するページの運営
- ③ 民間メディアによる京都の魅力を伝える記事の翻訳掲載
- ④ 季節の開花・紅葉情報
- ⑤ 主要観光地への交通手段及び企画乗車券に関する情報
- ⑥ 主要観光地における混雑状況及び混雑予測情報
- ⑦ マナー啓発や需要分散化等、観光課題解決を目的とした事業に関する情報
- ⑧ 災害時の緊急情報等の安心・安全に関わる情報
- ⑨ 京都総合観光案内所等に寄せられる観光相談を踏まえた「よくある質問」

(3) SNSを活用した情報発信

現在運営しているFacebook（日本語、英語）やInstagram、X、Weiboを中心に、観光情報のタイムリーな発信やマナー啓発、災害時の情報発信を行うとともに、特に以下の3点を重視した運営を行う。

- ① 会員事業者等が公式アカウントから発信する情報を拡散し、京都全体の観光情報の流通を促進。
- ② 京都観光関連のオンラインコミュニティと連携した企画
- ③ 投稿用の写真・イラスト等の素材の拡充

(4) 事業者向けWEBサイトの充実を中心とした広報・広聴機能の強化

充実

事業者向けWEBサイトを改修し、当協会が実施する各種事業の解説等の発信強化による会員事業者の参画促進、統計・調査情報の閲覧の利便性の向上、外部メディアと連携した情報発信体制の確立等により広報機能を強化する。

また、メールマガジン「京都観光MICE NEWSletter」による情報発信に引き続き取り組み、京都観光に関心のある事業者との関係性維持に努める。

2 海外情報拠点の運営

海外における旅行動向等の情報を収集するとともに、マーケティングに基づいた京都観光のPR活動等を行うため、世界6都市において情報拠点（レップ窓口）を運営する。

（海外情報拠点設置都市）

ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、パリ、シドニー、台北

3 海外旅行商談会等出展

ILTM等の旅行商談会への出展を通じ、欧米のラグジュアリー市場にデスティネーションとしての京都のPRを行うとともに、多くの顧客を有する海外の有力旅行会社と会員企業等とのマッチングを図る。

4 メディア支援

(1) 海外メディア取材支援

海外有力メディア（雑誌、テレビ、WEBサイト等）の取材誘致受入を推進し、メディアへの効果的な露出を通じ、京都ブランドの一層の向上を図る。

- ① 旺盛な取材需要に応え、宿泊施設等が実施するファムトリップへの取材支援を積極的に実施する。
- ② 海外有力旅行雑誌やWEBサイトを通じた京都の記事広告を掲載し、ブランドイメージの向上を図る。

(2) 貸出用写真・動画素材の拡充

デスティネーションとしての京都のメディア露出の更なる拡大を図るため、メディア関係者等に京都の写真素材を提供する専用サイト「KYOTO IMAGE BANK」と、京都観光動画素材貸出サイト「KYOTO STOCK FOOTAGE LIBRARY」を運営する。

また、京都を広く紹介するため、令和5年度に作成した年中行事や伝統文化等を紹介したプロモーション映像を活用し、海外・インバウンドへのPRに努めるとともに、当該映像については広く会員事業者を提供する。

(3) 京都コンシェルジュ研究会

参画するホテルや所属するコンシェルジュとの連携により、当該ホテルへの宿泊層に対して必要な観光情報をより効果的に発信する。あわせて、マーケットの現状やニーズを把握し、観光客の受入環境の更なる充実を図る。

5 JR各社との連携活動

(1) JR西日本との連携

九州、北陸、中国地区からの観光客誘致を図るため、JR西日本との共同事業「京都・大阪・神戸観光推進協議会」に参画し、京都・大阪・神戸の三都市間で連携した誘致を行う。閑散期における旅行商品による集客のほか、万博を見据えた協議会ならではの観光素材の発掘・発信等、広域観光を推進し三都市の魅力発信に努める。

(2) JR東海との連携

最重点市場である首都圏及び東海道新幹線沿線地区からの観光客誘致を図るため、JR東海との共同事業「京都観光宣伝協議会」に参画し、観光コンテンツの充実を図るとともに、JR東海の媒体をはじめ、マスメディア等も活用した幅広い京都PRを推進する。

(3) JR東日本グループとの連携

JR東日本グループ旅行会社と連携し、首都圏以北の都市圏から京都への観光客誘致を目的とした観光コンテンツの提案や宿泊促進を通じ、受入体制の強化を図る。

(4) JRグループ6社共同キャンペーンと連携した観光振興の継続実施

昭和54年度以降、長年にわたり実施しているJRグループとの「京の冬の旅」キャンペーンについて、令和6年度以降も冬季の観光振興の最重点事業として、引き続きJRグループ6社によるデスティネーションキャンペーンとして実施できるよう要請する。また、全国宣伝販売促進会議等の活用や他事業との連携、会員事業者をはじめとした観光事業者の参画等を通じて、キャンペーンの波及効果を向上させる。

Ⅱ 京都ブランドの向上を目指す京都観光振興事業（公益目的事業会計）

1 市民生活と調和した持続可能な観光の推進

充実

(1) 京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及啓発

京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及啓発のため、以下に挙げる取組を行い、特設WEBサイトを中心に情報発信を行う。

- ① 京都観光モラル推進宣言事業者の募集、認定
- ② 「持続可能な京都観光を推進する優良事業者表彰」の制度運営
- ③ 京都観光モラルの周知につながる記事・素材の作成と配信

(2) マナー啓発

充実

観光需要の回復に伴い、一部の地域や時期への観光客の集中により観光客のマナー問題が生じている。市民生活と観光の調和を図り、持続可能な京都観光の実現に向けて、引き続きマナー啓発を展開していく。

- ①事業者主体のマナー啓発の支援
- ②マナー啓発コンテンツの拡充

③観光地におけるマナー啓発

④公式WEBサイトやSNSにおけるマナー啓発情報の発信

(3) 混雑可視化による分散化

スマートフォン利用者の位置情報や天気、曜日、時間等のビッグデータをもとに予測した観光快適度（混雑状況）を、公式WEBサイトで発信する。さらに、市内10箇所に設置したライブカメラと、イベント等の実施に合わせて対応できる臨時仮設用の2台のポータブルライブカメラを活用して、混雑状況をリアルタイムで配信する。

(4) 手ぶら観光の推進

充実

街なかや公共交通機関において、観光客による大型手荷物の携行を減少させ混雑を緩和させる手ぶら観光を推進する。手荷物預かりや配送サービス窓口、コインロッカー情報等を集約したWEBサイト「HANDS FREE KYOTO」の充実・活用強化等、市内における手荷物預かりサービスの更なる発信・充実に取り組む。

(5) 外国語案内表記の実態把握及び改善支援

新規

観光客向けの店舗・施設において、在住外国人や入洛外国人観光客等の協力のもと**外国語案内表記の実態調査**を行う。調査結果を踏まえ、優先度の高い案件から順に、**改善の提案や支援**を行い、外国語案内表記の質の向上を図る。

2 マーケティング・調査分析事業

(1) 京都市観光協会データ月報の充実

京都観光の市場動向をいち早く把握できるよう、市内主要ホテル110軒・旅館25軒の統計情報や免税店の売上状況、ビッグデータの分析結果等を「京都市観光協会データ月報」として発表する。

(2) 観光関連統計の分析結果の解説

京都市において実施している「京都観光総合調査」をはじめ、外部の統計調査を幅広く収集・分析し、より質の高い観光地づくりにつながる政策立案の根拠データとして、広く公表する。また、事業計画や実績評価を行う際の判断材料として活用する。

(3) リピーターの開発につながるDXの推進

充実

文化財特別公開等の事業において収集している商品予約者の情報、アンケートの回答結果、来訪実績データ、WEBサイトのアクセス解析結果等といった情報を組み合わせて分析。観光客がイベントを認知してから来訪に至るまでの状況の把握や、事前の予約状況をもとに将来需要を予測するなど、分析結果を活用した効果的な情報発信の仕組みを構築する。

また、これらの仕組みに参画する事業者が観光客向けに提供する特典について、その開発支援、店舗情報の可視化（Google Business Profile活用等）支援を行い、業界のDXを推進する。

3 観光コンテンツの開発

(1) 多様なエリアの魅力発掘・発信（場所の分散化）

「とっておきの京都プロジェクト」（対象エリア：伏見、大原、高雄、京北、西京、山科）として推進している場所の分散化事業について、地域の事業者・団体等が主体性を持って面的に取り組む観光誘客策への支援として、コンテンツ造成やPRのノウハウ提供などを通じ、核となる地域の事業者発

掘、事業者間のネットワーク形成を促進する。また、府内隣接エリアとも連携し、京都観光のリピーター等への魅力発信、周遊促進に取り組む。

(2) 朝観光・夜観光の推進（時間の分散化）

早朝拝観や夜間イベント等、朝・夜の魅力ある観光コンテンツの開発と情報発信の一環として、春や秋の京都観光の繁忙期を中心に、朝観光・夜観光に取り組む事業者・団体等が実施するコンテンツ造成や運営面の支援を行い、広くPRする。こうした取組を通じて、混雑回避と時間の有効活用を観光客に提案し、時間の分散化を図り、宿泊促進、観光消費拡大につなげる。

(3) 「京都 千年の心得」をはじめとした京都ならではの観光コンテンツの拡充

会員事業者をはじめとした観光事業者との連携を進め、文化財の拝観・鑑賞や体験、食、伝統産業等の資源の活用により、多様なジャンル、付加価値の高い観光コンテンツを一年を通じて開発するとともに、統合的なPR、販路の整備を行う。京都ならではの多様な魅力に触れることができる機会を国内外に発信し、観光の質の向上や観光客のニーズ把握、リピーター化、ロイヤルカスタマー化に取り組む。

(4) 第49回「京の夏の旅」キャンペーン

① 文化財特別公開の企画実施

若年層等の需要開拓を目的に、「世界遺産登録30周年」をテーマに普段見学することのできない社寺や施設等の文化財特別公開を実施。さらに、定期観光バス、タクシー等による特別コースを企画するほか、インバウンドへの対応や夜観光との相乗に取り組む。

② 参加体験型イベントの企画実施

奥深い京都のほんものの魅力に触れ、日本文化の原点に出会うことのできる体験型観光プログラム「京都 千年の心得」をはじめ、夏の京都ならではの観光コンテンツを予約制で提供し、観光の質の向上や混雑を回避できる観光スタイルを訴求する。

(5) 第59回「京の冬の旅」キャンペーン

① 非公開文化財特別公開の企画実施

「世界遺産登録30周年」等にちなみ、普段見学することのできない寺社や施設の特別公開、冬ならではの風情を楽しむ定期観光バス、タクシーによる特別コースを企画する。JRグループと連携し、WEBやSNSを活用したプロモーションに取り組むことで、幅広い世代にキャンペーンを訴求し、全国からの観光誘致を図る。

② 参加体験型イベントの企画実施

「京の冬の旅」の魅力を深めるとともに、「京都 千年の心得」のほか、「朝観光・夜観光の推進」、「とっておきの京都プロジェクト」、「京都レストランウインターズスペシャル」等の各事業との連携を通じ、冬ならではの多様な京都の魅力をJRグループと連携して訴求する。

(6) 連携協定「ひろし・みやこ同盟」に基づく取組の推進

世界遺産をはじめとする歴史や文化等、観光地としての特性や取組に共通性を持つ、広島及び京都への誘客促進に向けて、広島県観光連盟と締結した連携協定を活用し、国内外からの誘客促進、事業者間の交流機会創出、観光課題対策等に取り組む。

(7) 京都市認定通訳ガイドの育成・活躍支援

京都観光の専門知識を身に付け、外国語で京都の奥深い魅力を伝えることができる京都市認定通訳

ガイド「京都市ビジターズホスト（KVH）」（英語・中国語・フランス語・スペイン語）の認定（第6期生）を行うとともに、新規募集（第7期生）を実施する。既存のKVHに対しては、引き続き研修等を通じ支援していく。

また、KVHを活用し、観光課題解決を目的とした京都観光モラルの実践につながるツアーを実施する。

4 伝統行事・伝統文化の振興

(1) 四大大行事の執行支援

① 三大祭観覧席設置事業

葵祭、祇園祭、時代祭の三大祭において有料観覧席を設置する。旅行形態の変化に伴い団体旅行の減少等の課題がある中、引き続き利用者のニーズに合う高付加価値席の設定、祭当日前後における体験プログラム等の商品造成、企業広告協賛の獲得、さらに、回復が進むインバウンド需要の取込強化を図り、祭への執行補助金を安定・継続的に拠出できるよう取り組む。また、各祭のプロモーションについても、執行団体等と連携し積極的な情報発信を行う。

② 伝統行事執行補助

有料観覧席やグッズの販売収益及び企業広告協賛金の一部を、京都四大大行事（三大祭及び京都五山送り火）への執行補助金として交付する。また、葵祭及び京都五山送り火協賛会の事務局として、協賛金の勧募活動のほか、行事を支える補助団体や執行団体との連携のもと、各協賛会の円滑な運営を通じ、行事の保存継承を推進する。

(2) 京の食文化魅力発信事業

① 京料理展示大会

京都料理組合が主催する「京料理展示大会」（12月）において、京の食文化の発信に努める。

② 京都レストランウインターズスペシャル

京都国際観光レストラン協会の事務局を担うとともに、京都レストランズスペシャル実行委員会の事務局を担い、「京都レストランウインターズスペシャル」の開催を通じ、京の食文化の発信に努める。

5 地域振興及び面的観光の促進

(1) 琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会の運営

京都市、滋賀県、大津市等で構成される「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」の事務局を担い、「びわ湖疏水船」の運航事業をはじめ、文化庁が認定する「日本遺産」を活用したフィールドミュージアム整備事業等、琵琶湖疏水沿線の魅力発信事業を推進する。

「びわ湖疏水船」の運航事業では、**大津閘門の電動化により令和6年3月の春季運航からびわ湖大津港までの航路延伸運航を開始**し、更なる「びわ湖疏水船」への関心を高めるほか、引き続きふるさと納税の利用増進等、持続可能な通船運営に努める。

フィールドミュージアム整備事業では、沿線全域の魅力発信のほか、大津閘門からの航路延伸等の広報を強化する。

(2) 花灯路・ライトアップ支援事業

京都府・京都市等で構成する協議会で執行してきた「京都・花灯路」の後継事業となる「花灯路・ライトアップ支援事業」の事務局を担い、京都全域の観光振興や地域振興に資する事業に対し行灯・配線ケーブル等の電気設備資材の貸し出しを行う。夜観光、宿泊観光の促進による滞在時間の延長により、経済効果の波及を狙う。

(3) 京の七夕

京都府、京都市等で構成する「京の七夕実行委員会」の事務局を担い、旧暦の七夕にちなみ8月上旬に、「祈り」や「願い」をテーマに、京都各所で行われる民間や各種団体の主催する「京の七夕」協賛イベントに対して、広報と情報の収集・発信を行う。また、笹飾りや短冊の配布等の事業支援を行い、夜観光、宿泊観光の促進につなげる。

(4) 二条城との連携

二条城において実施される春・夏・秋に開催される夜間ライトアップに対応した二条城大休憩所内店舗の営業や、春・秋における二条城まつりでの物産出品協会と連携した物産展の運営等を通じて賑わいを創出し、国内・インバウンド観光客の誘致につなげる。

また、二条城大休憩所内店舗に併設する「二条城・伝統の逸品」コーナーでは、京都の伝統的な技術や技法を用い、二条城の建築物や障壁画等をデザインに活かした伝統産品を販売し、二条城と伝統産業の更なるPRに努める。

6 修学旅行受入環境の整備

(1) 京都観光推進協議会への参画

京都市や観光関連団体で構成する京都観光推進協議会と連携し、修学旅行で京都へ訪れた各地の学校を訪問し、実情や要望等を直接聞く学校訪問事業を実施するほか、春季に京都駅において修学旅行歓迎式を実施する。

(2) 修学旅行受入環境の整備

修学旅行の受入環境整備の一環として実施している修学旅行パスポート事業では、エリア別及び業種別に優待内容を調べる事が可能な特設ホームページの更なる充実と利用促進を図り、ペーパーレス化に向けた取組を進める。

一方で、協会窓口にお越しになる学校関係者に対しては、修学旅行パスポートをはじめとする資料配付や相談業務を引き続き実施する。

7 事業者支援

(1) 買物環境整備・キャッシュレス促進

京都市が包括連携協定を締結している大手クレジットカード会社Visaや地域情報化推進団体KICSと連携し、非接触決済（キャッシュレス決済）の利便性を広くPRするとともに、土産店や飲食店等での導入及び観光客、市民の利用を促進する。

また、京都市とともに免税店向け多言語コールセンターを共同事業として運営する。

(2) 宿泊施設魅力発信事業・担い手確保等支援事業

夏と冬の閑散期において、OTAサイトを活用し、旅館の魅力を発信するキャンペーンを実施する。

また、OTAサイトからの予約に対してインセンティブを付与する等、旅館の宿泊を促進させる事業を展開し、経営強化を支援する。

また、担い手確保への支援として、京都の宿泊業界で働く魅力や求人情報の発信等に特設サイトにおいて取り組む。

(3) 飲食店経営改善サポート事業

物価高騰や人材不足など厳しい経営を余儀なくされている飲食店を対象に、来店促進や業務改善等に資する個別相談等の伴走支援を実施し、経営をサポートする。

(4) 観光事業者の交流の場の創出（京都インバウンドカフェ）

充実

観光事業者間の協業や、京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及・啓発を推進するため、京都信用金庫との連携協定のもと、会員事業者をはじめとした観光事業者・従事者を交えての意見交換等を行うイベントを定期的で開催する。

（イベントのテーマ候補）

- ① 「インバウンドイノベーション京都」採択事業者とホテル等との商談会
- ② 海外情報拠点の担当者に対し、海外観光客の最新ニーズについて聞く
- ③ 広島県観光連盟等他地域DMOとの連携企画
- ④ Google Business Profile活用・口コミクレーム対応
- ⑤ SNSを活用した情報発信
- ⑥ 先進事例の視察

(5) インバウンド向け事業企画の支援（インバウンドイノベーション京都）

充実

京都信用金庫との連携協定のもと、観光事業者によるインバウンド向けの新規事業のアイデア募集を通じ、京都観光行動基準（京都観光モラル）の実践等にいたる、上質な観光コンテンツの造成を支援する。あわせて、市内宿泊施設や海外メディア担当者、京都市認定通訳ガイド等とのマッチングを促進し、業界の活性化や情報発信等を図る。とくに令和6年度は、過去2年間支援してきた事業者の実績把握にも注力し、支援の成果を評価できる体制を整える。

Ⅲ 入洛観光客に対する案内事業（公益目的事業）

1 京都総合観光案内所「京なび」運営業務の受託

国内外から京都を訪れる人々の観光情報拠点として、社寺等の拝観情報や地域の各種行事、イベント情報の提供、チケット販売や宿泊斡旋等を通じ、京都の魅力を広く発信する。観光地へのアクセスや交通情報、広域情報の提供も行い、観光客の周遊性向上や観光の分散化を積極的に支援する。

また、京なびに蓄積された相談情報をもとに、FAQ（よくある質問）を拡充し、これらの情報を掲載するWEBサイト「京なびオンライン」の活用を促すことで、一層スムーズかつ効率的な観光案内を推進する。

あわせて、市内主要駅等に専用端末を設置し、観光客が京なびに来所せずともウェブサイトや資料の閲覧、端末からオンラインで京なびに相談できる環境の拡大を図る。

台風や大雪、地震等の自然災害時においては、特に外国人観光客の支援に主眼を置き、交通機関等の

運行情報、社寺、観光施設の開閉情報等を収集し、所内のサイネージに掲示するほか、京都観光NaviやSNSでも情報を発信し、最新情報をタイムリーにお届けする。

2 観光地図の作成

紙の観光地図は、スマートフォンが普及してもなお、距離や位置関係が一目で把握できる等一覽性に優れているため、京なび来所者からのニーズが最も高く、基本案内ツールの一つとなっている。

令和6年度は外国人観光客が大幅に回復した状況を踏まえ、日本語版に加えて英語版（各15万部）についても計画的に作成する。

3 市内観光案内所との連携

京都駅周辺に多数開設されている案内所と「京都駅ホスピタリティ向上に関する検討会」を設置し、ネットワークを使用したコミュニケーションツールにより日々、交通機関等の運行情報や社寺、観光施設の開閉情報等の最新情報を共有し、観光案内に活用することにより、観光客へのサービス向上と安心・安全な京都観光の実現を図る。

また、春と秋のトップシーズンについては、観光客の集中による観光課題に対応するための取組について、情報交換や相互連携の強化を図るため会議を開催し、混雑回避や観光の分散化支援に努める。

さらに、京都市が主催する「京都市内観光案内所ネットワーク会議」に参画し、各案内所との連携を深め、的確に観光客のニーズへ対応する。

Ⅳ 観光客の利便向上を図る販売事業（収益事業等会計）

1 元離宮二条城大休憩所内店舗の運営

京都市からの受託事業として、物販コーナーとイートインコーナーを引き続き運営する。入城記念符をはじめとする二条城限定のオリジナル商品の開発や城内イベント、各種キャンペーンと連動した商品やメニューの企画により、来城者の満足度と売上の向上を図る。

令和6年度は、修学旅行生の二条城来城が店舗の活性化につながっていることから、産学連携による学生向け商品の開発や、レジデータ分析による商品入替を積極的に行う。また、インバウンドの本格的な回復を捉え、客層に合わせた品揃えを見直し、収益の確保に努める。

2 有料出版物・乗車券・入場券等の販売

京なびにおいて、交通系チケット、催事観覧券、博物館・美術館入場券、各種出版物等を引き続き販売し、観光客の利便性の向上を図る。

インバウンドの本格的な回復を受け、外国人観光客の需要の高い非接触型海外Wi-Fiレンタルやインバウンド向け乗車券の引換等の取扱いを開始。今後更なる事業者との連携を進め、企画乗車券やクーポン等観光客のニーズに対応した取扱商品の拡充に努める。

V 観光施設等運営事業（収益事業等会計）

1 旧三井家下鴨別邸の管理運営

当協会（代表団体）、賀茂御祖神社（下鴨神社）、(株)曾根造園、三井不動産レジデンシャルサービス関西(株)の4者で共同事業体（コンソーシアム）を構成し、重要文化財施設「旧三井家下鴨別邸」の指定管理業務を引き続き行う。令和5年度から令和8年度までの4年間は、「文化財の保存と活用のモデルとなる持続可能な施設運営」を目指す。

令和6年度は、通常公開業務に加え、引き続き「事前予約」「少人数制」「高付加価値」をキーワードに自主事業を積極的に展開するとともに、令和5年度から導入したPOSレジの分析データを運営に活用し、来館者の満足度と収益の更なる向上を図る。

VI 共催・後援・会員向け事業（収益事業等会計）

1 会員・事業者向けメールマガジンの運営

京都文化交流コンベンションビューローと共同で配信している「京都観光MICE NEWSletter」を引き続き配信し、今後の当協会の活動予定や最新の情報を広く提供する。あわせて、会員満足度の向上を目的に「優待サービス」の紹介等を実施し、会員同士の交流や事業連携を図る。

2 会員事業者向け多言語対応支援

外国人観光客の観光消費拡大に向けた取組のひとつとして、令和4年度から実施している会員事業者向け多言語コールセンターの運営を継続し、宿泊施設やサービス提供事業者のサポートを行う。

3 会報の発行

当協会の活動状況や事業報告、新入会員の紹介等を掲載する会報誌「京観協だより」を発行する。

4 表彰

観光に携わる事業者や従業員の意識高揚を図るため、事業振興に貢献した個人及び団体の表彰を行う。

5 共催・後援

京都の観光振興につながる年中行事・催事を中心に共催・後援を行い、各事業の積極的な宣伝等を通じて支援することで、更なる京都観光の発展に寄与する。

Ⅶ 関係団体共同事業（収益事業等会計）

1 広域観光事業

(1) 全国京都会議

京都と全国の「小京都」と「京都ゆかりの市町」で組織している全国京都会議の事務局を運営し、広域的な観光誘致宣伝活動を実施する。京都においては、広義の「観光の分散化」としての取組と捉え、各市町村と連携し京都からの送客のほか、インバウンドの客層を中心に積極的な情報発信も行う。令和6年度は、高知県四万十市中村での総会開催や誘致宣伝物の作成等、引き続き会員市町間で連携を図り、各市町への誘客促進と魅力発信の強化に取り組む。

(2) 大都市観光協会連絡協議会

政令指定都市の観光協会等が抱える課題を持ち寄り、課題解決に向けた情報交換や先進事例の情報共有を行う。

(3) 全国足利氏ゆかりの会

全国足利氏ゆかりの会に引き続き参画し、足利氏の顕彰を図る諸事業を展開する。

2 京都観光施設協議会

京都市内及びその近郊の観光施設等で構成する「京都観光施設協議会」の事務局を担当し、参画施設の情報発信や京都観光推進協議会と連携した修学旅行誘致事業等に取り組むほか、より実効性のある協議会の在り方について検討を進める。

3 その他

京都市や京都府、観光庁や文化庁等との連携に加え、関係業界団体の事業に参画し、地域経営の方針の浸透を図る。主な連携先は以下のとおり。

情報発信の強化

- ・京都市メディア支援センター
- ・京都文化交流コンベンションビューロー
- ・京都創生推進フォーラム

地域連携

- ・京都市地域活性化総合特別区域協議会
- ・京都岡崎魅力づくり推進協議会

コンテンツ・イベント関連

- ・文化庁連携プラットフォーム
- ・大阪・関西万博きょうと推進委員会
- ・京都文化力プロジェクト実行委員会
- ・京都マラソン実行委員会
- ・京都学生祭典企画検討委員会
- ・京都ブランド名産品公正取引協議会

- ・京都一周トレイル会
- ・京都ツーデーウォーク実行委員会
- ・京都市温泉観光活性化協議会
- ・京都レストランスペシャル実行委員会
- ・京都映画賞実行委員会

交通

- ・「歩くまち・京都」推進会議
- ・公共交通機関でおこしやす・京都市協議会
- ・嵐山及び東山交通対策研究会
- ・京都エリア観光渋滞対策実験協議会
- ・京都市地域公共交通計画協議会

その他

- ・観光立国推進協議会
- ・関西観光本部
- ・関西ツーリズムグランドデザイン2025策定会議
- ・京都テロ対策ネットワーク
- ・京都市まちの美化推進事業団
- ・「スローライフ京都」大作戦推進会議
- ・国民公園協会京都御苑運営協議会
- ・「伝統産業の日」実行委員会
- ・東海自然歩道連絡協会
- ・明日の京都 文化遺産プラットフォーム
- ・ITコンソーシアム京都
- ・京のアジェンダ21フォーラム
- ・伝教大師最澄1200年魅力交流委員会
- ・京都花街おもてなし文化振興協議会
- ・京都－歴史と文化発信事業推進実行委員会
- ・京都市脱炭素先行地域推進コンソーシアム
- ・鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会
- ・京都モダン建築祭実行委員会

令和6年度 予 算

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

収 益 合 計	1,146,230,000円
費 用 合 計	1,146,230,000円
当期經常増減額	0円
当期經常外増減額	0円
当期一般正味財産増減額	0円

令和6年度予算（予定正味財産増減計算書）

令和6年4月1日から令和7年3月31日

（単位 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益			
a 特定資産受取利息	354,000	360,000	▲ 6,000
b 特定資産受取配当金	0	0	0
特定資産運用益計	354,000	360,000	▲ 6,000
②受取会費			
a 受取会費	69,208,000	68,244,000	964,000
受取会費計	69,208,000	68,244,000	964,000
③事業収益			
a 紹介宣伝事業収益	14,285,000	9,445,000	4,840,000
b 観光振興事業収益	268,414,000	249,191,000	19,223,000
c 観光案内事業収益	18,701,000	15,282,000	3,419,000
d 販売事業収益	290,918,000	152,474,000	138,444,000
e 観光施設等運営事業収益	27,467,000	33,550,000	▲ 6,083,000
f 関係団体等共同事業収益	540,000	540,000	0
事業収益計	620,325,000	460,482,000	159,843,000
④受取補助金等			
a 受取京都市補助金	238,813,000	227,502,000	11,311,000
b 受託金	146,430,000	154,480,000	▲ 8,050,000
c 受取国庫補助金	71,000,000	24,000,000	47,000,000
d その他	0	0	0
受取補助金等計	456,243,000	405,982,000	50,261,000
⑤雑収益			
a 雑収益	100,000	100,000	0
雑収益計	100,000	100,000	0
経常収益計	1,146,230,000	935,168,000	211,062,000
(2) 経常費用			
①事業費			
a 役員報酬	2,675,000	2,562,000	113,000
b 給料手当	162,738,000	153,507,000	9,231,000
c 臨時雇賃金	68,649,000	59,196,000	9,453,000
d 退職給付費用	0	7,379,000	▲ 7,379,000
e 賞与引当金	13,792,000	12,636,000	1,156,000
f 法定福利費	46,806,000	42,614,000	4,192,000

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減
g 法定外福利費	390,000	600,000	▲ 210,000
h 会 議 費	7,200,000	7,200,000	0
i 旅費交通費	12,620,000	13,540,000	▲ 920,000
j 通信運搬費	11,024,000	9,744,000	1,280,000
k 減価償却費	2,243,000	2,236,000	7,000
l 消耗什器備品費	500,000	200,000	300,000
m 消耗品費	12,388,000	13,050,000	▲ 662,000
n 修繕費	300,000	140,000	160,000
o 修繕積立費用	0	0	0
p 印刷製本費	32,202,000	27,331,000	4,871,000
q 報 奨 費	0	500,000	▲ 500,000
r 光熱水料費	3,791,000	3,660,000	131,000
s 使用料及び賃借料	70,089,000	54,512,000	15,577,000
t 保 險 料	3,070,000	2,850,000	220,000
u 諸 謝 金	4,863,000	6,593,000	▲ 1,730,000
v 研 修 費	510,000	710,000	▲ 200,000
w 支 払 分 担 金	53,720,000	37,970,000	15,750,000
x 租 税 公 課	34,843,000	24,065,000	10,778,000
y 諸 会 費	2,675,000	2,395,000	280,000
z 支 払 負 担 金	7,480,000	10,067,000	▲ 2,587,000
aa 支 払 助 成 金	29,150,000	30,910,000	▲ 1,760,000
ab 支 払 寄 付 金	3,762,000	500,000	3,262,000
ac 委 託 費	289,051,000	213,962,000	75,089,000
ad 廣 告 宣 伝 費	18,600,000	29,200,000	▲ 10,600,000
ae 販 売 促 進 費	2,000,000	0	2,000,000
af 手 数 料	17,875,000	18,230,000	▲ 355,000
ag 交 際 費	400,000	380,000	20,000
ah 雜 費	4,877,000	6,185,000	▲ 1,308,000
ai 商 品 仕 入	167,462,000	82,829,000	84,633,000
事 業 費 計	1,087,745,000	877,453,000	210,292,000
②管 理 費			
a 役 員 報 酬	568,000	572,000	▲ 4,000
b 給 料 手 当	20,313,000	20,290,000	23,000
c 臨 時 雇 賃 金	1,852,000	1,955,000	▲ 103,000
d 退 職 給 付 費 用	0	1,037,000	▲ 1,037,000
e 賞 与 引 当 金	1,844,000	1,833,000	11,000
f 法 定 福 利 費	4,928,000	4,780,000	148,000
g 法 定 外 福 利 費	1,156,000	1,156,000	0
h 会 議 費	4,286,000	4,186,000	100,000
i 旅 費 交 通 費	357,000	557,000	▲ 200,000
j 通 信 運 搬 費	2,047,000	1,851,000	196,000
k 減 価 償 却 費	942,000	1,395,000	▲ 453,000

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
l 消耗什器備品費	0	0	0
m 消 耗 品 費	264,000	418,000	▲ 154,000
n 修 繕 費	0	0	0
o 印 刷 製 本 費	410,000	450,000	▲ 40,000
p 報 奨 費	50,000	0	50,000
q 光 熱 水 料 費	108,000	132,000	▲ 24,000
r 使用料及び賃借料	2,096,000	2,497,000	▲ 401,000
s 保 険 料	520,000	450,000	70,000
t 諸 謝 金	564,000	200,000	364,000
u 研 修 費	500,000	500,000	0
v 支 払 分 担 金	3,000,000	3,000,000	0
w 租 税 公 課	1,872,000	3,514,000	▲ 1,642,000
x 諸 会 費	2,013,000	2,003,000	10,000
y 支 払 助 成 金	0	0	0
z 委 託 費	5,895,000	2,039,000	3,856,000
aa 手 数 料	1,600,000	2,000,000	▲ 400,000
ab 交 際 費	700,000	500,000	200,000
ac 雑 費	600,000	400,000	200,000
ad 雑 損 失	0	0	0
管 理 費 計	58,485,000	57,715,000	770,000
経 常 費 用 計	1,146,230,000	935,168,000	211,062,000
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	490,064,118	451,833,390	38,230,728
一般正味財産期末残高	490,064,118	451,833,390	38,230,728
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
III 正味財産期末残高	490,064,118	451,833,390	38,230,728

令和6年度予算（予定正味財産増減計算書内訳表）

令和6年4月1日から令和7年3月31日

（単位 円）

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計					法人会計	合 計	
	観光都市 京都の紹介 宣伝事業	京都ブランドの 向上を目指す 観光振興事業	入浴観光客 に対する 案内事業	共 通	小 計	観 光 客 の 利便向上を図る 販売事業	観 光 施 設 等 運 営 事 業	共 催・後援・ 会員向け事業	関 係 団 体 等 共 同 事 業			共 通
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経 常 収 益												
①特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②受 取 会 費	6,700,000	10,050,000	10,050,000	0	26,800,000	5,558,000	3,350,000	3,350,000	0	15,608,000	26,800,000	69,208,000
受 取 会 費 計	6,700,000	10,050,000	10,050,000	0	26,800,000	5,558,000	3,350,000	3,350,000	0	15,608,000	26,800,000	69,208,000
③事 業 収 益	14,285,000	0	0	0	14,285,000	0	0	0	0	0	0	14,285,000
紹介宣伝事業収益	0	268,414,000	0	0	268,414,000	0	0	0	0	0	0	268,414,000
観光振興事業収益	0	0	18,701,000	0	18,701,000	0	0	0	0	0	0	18,701,000
観光案内事業収益	0	0	0	0	0	290,918,000	0	0	0	0	0	290,918,000
販売事業収益	0	0	0	0	0	0	27,467,000	0	0	0	0	27,467,000
観光施設等運営事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係団体等共同事業収益	0	0	0	0	0	0	0	540,000	0	540,000	0	540,000
事業収益計	14,285,000	268,414,000	18,701,000	0	301,400,000	290,918,000	27,467,000	540,000	0	318,925,000	0	620,325,000
④受取補助金等	97,460,000	103,820,000	4,290,000	0	205,570,000	4,290,000	1,716,000	1,287,000	0	8,580,000	24,663,000	238,813,000
受取京都市補助金	48,716,000	26,850,000	70,864,000	0	146,430,000	0	0	0	0	0	0	146,430,000
受 託 金	2,000,000	69,000,000	0	0	71,000,000	0	0	0	0	0	0	71,000,000
受取国庫補助金	148,176,000	199,670,000	75,154,000	0	423,000,000	4,290,000	1,716,000	1,287,000	0	8,580,000	24,663,000	466,243,000
受取補助金等計	148,176,000	199,670,000	75,154,000	0	423,000,000	4,290,000	1,716,000	1,287,000	0	8,580,000	24,663,000	466,243,000
⑤雑 収 益	0	0	100,000	0	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000
雑 収 益 計	0	0	100,000	0	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000
経常収益計	169,161,000	478,134,000	104,005,000	0	751,300,000	300,766,000	32,533,000	4,637,000	0	343,113,000	51,817,000	1,146,230,000
(2) 経常費用	499,000	1,610,000	115,000	0	2,224,000	329,000	101,000	9,000	0	451,000	0	2,675,000
①事業報酬	22,647,000	73,043,000	28,317,000	0	124,007,000	24,639,000	13,106,000	419,000	0	38,731,000	0	162,738,000
給料手当	0	2,552,000	42,819,000	0	45,371,000	11,633,000	11,645,000	0	0	23,278,000	0	68,649,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計						法人会計	合 計	
	観光都市 京都の紹介 宣伝事業	京都ブランドの 向上を目指す 観光振興事業	入浴観光客 に対する 案内事業	共 通	小 計	観光客の 利便向上を図る 販売事業	観光施設の 運営事業	共催・後援・ 会員向け事業	関係団体等 共同事業	共 通			小 計
賞与引当金	2,055,000	6,629,000	2,234,000	0	10,918,000	1,911,000	874,000	38,000	51,000	0	2,874,000	0	13,792,000
法定福利費	5,494,000	17,720,000	11,555,000	0	34,769,000	7,271,000	4,527,000	102,000	137,000	0	12,037,000	0	46,806,000
法定外福利費	0	0	340,000	0	340,000	50,000	0	0	0	0	50,000	0	390,000
会議費	200,000	7,000,000	0	0	7,200,000	0	0	0	0	0	0	0	7,200,000
旅費交通費	9,810,000	2,380,000	50,000	0	12,240,000	0	0	0	380,000	0	380,000	0	12,620,000
通信運搬費	412,000	8,778,000	602,000	0	9,792,000	320,000	0	907,000	5,000	0	1,232,000	0	11,024,000
減価償却費	0	793,000	312,000	0	1,105,000	1,138,000	0	0	0	0	1,138,000	0	2,243,000
消耗什器備品費	0	0	100,000	0	100,000	400,000	0	0	0	0	400,000	0	500,000
消耗品費	863,000	9,492,000	1,520,000	0	11,875,000	500,000	0	13,000	0	0	513,000	0	12,388,000
修繕費	0	0	0	0	0	300,000	0	0	0	0	300,000	0	300,000
修繕積立費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	400,000	20,610,000	10,202,000	0	31,212,000	220,000	0	770,000	0	0	990,000	0	32,202,000
報奨費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	352,000	1,212,000	1,920,000	0	3,484,000	307,000	0	0	0	0	307,000	0	3,791,000
使用料及び賃借料	6,323,000	32,347,000	5,763,000	0	44,433,000	25,656,000	0	0	0	0	25,656,000	0	70,089,000
保険料	0	3,030,000	40,000	0	3,070,000	0	0	0	0	0	0	0	3,070,000
諸謝金	0	4,723,000	0	0	4,723,000	140,000	0	0	0	0	140,000	0	4,863,000
研究費	0	300,000	200,000	0	500,000	10,000	0	0	0	0	10,000	0	510,000
支払分担金	1,200,000	50,120,000	2,400,000	0	53,720,000	0	0	0	0	0	0	0	53,720,000
租税公課	5,035,000	16,530,000	3,099,000	0	24,664,000	8,911,000	978,000	145,000	145,000	0	10,179,000	0	34,843,000
諸會費	1,500,000	700,000	0	0	2,200,000	0	0	0	475,000	0	475,000	0	2,675,000
支払負担金	4,000,000	1,500,000	550,000	0	6,050,000	0	0	310,000	1,120,000	0	1,430,000	0	7,480,000
支払助成金	0	28,290,000	0	0	28,290,000	0	0	360,000	500,000	0	860,000	0	29,150,000
支払寄付金	0	800,000	0	0	800,000	2,962,000	0	0	0	0	2,962,000	0	3,762,000
委託費	107,318,000	175,477,000	2,406,000	0	285,201,000	2,850,000	0	1,000,000	0	0	3,850,000	0	289,051,000
広告宣伝費	9,200,000	9,400,000	0	0	18,600,000	0	0	0	0	0	0	0	18,600,000
販売促進費	0	2,000,000	0	0	2,000,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000,000
手数料	0	13,632,000	0	0	13,632,000	4,243,000	0	0	0	0	4,243,000	0	17,875,000
交際費	0	0	0	0	0	0	0	400,000	0	0	400,000	0	400,000
雑費	0	4,417,000	200,000	0	4,617,000	250,000	0	10,000	0	0	260,000	0	4,877,000
商品仕入	0	0	0	0	0	167,462,000	0	0	0	0	167,462,000	0	167,462,000
事業費計	177,308,000	495,085,000	114,744,000	0	787,137,000	261,502,000	31,231,000	4,483,000	3,392,000	0	300,608,000	0	1,087,745,000
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	568,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,313,000
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,852,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,844,000
賞与引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,928,000
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,156,000
法定外福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,156,000

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計						法人会計	合 計		
	観光・都市 京都の紹介 宣伝事業	京都ブランドの 向上を目指す 観光振興事業	入浴観光客 に対する 案内事業	小 計	観光客の 利便向上を図る 販売事業	観光施設等 運営事業	共催・後援・ 会員向け事業	関係団体等 共同事業	共 通	小 計			法人会計	
														共 通
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報奨費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払分担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	177,308,000	495,085,000	114,744,000	787,137,000	261,502,000	31,231,000	4,483,000	3,392,000	300,608,000	58,485,000	58,485,000	58,485,000	1,146,230,000	
当期経常増減額	▲ 8,147,000	▲ 16,951,000	▲ 10,739,000	▲ 35,837,000	39,264,000	1,302,000	154,000	1,785,000	42,505,000	▲ 6,668,000	▲ 6,668,000	▲ 6,668,000	0	
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用														
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	13,171,076	13,171,076	0	0	0	▲ 13,171,076	▲ 13,171,076	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 8,147,000	▲ 16,951,000	▲ 10,739,000	▲ 22,665,924	39,264,000	1,302,000	154,000	1,785,000	29,333,924	▲ 6,668,000	▲ 6,668,000	▲ 6,668,000	0	
一般正味財産期首残高	0	0	0	47,641,320	0	0	0	0	206,944,976	235,477,822	235,477,822	235,477,822	490,064,118	
一般正味財産期末残高	0	0	0	24,975,396	0	0	0	0	236,278,900	228,809,822	228,809,822	228,809,822	490,064,118	
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0	24,975,396	0	0	0	0	236,278,900	228,809,822	228,809,822	228,809,822	490,064,118	

経常費用内訳表

(単位：千円)

会計区分	事業費						事業費合計	管理費	経常費用合計
	公益目的事業会計			収益事業等会計					
	観光都市京都の紹介宣伝事業	京都ブランドの向上を目指す観光振興事業	入浴観光客に対する案内事業	観光客の利便向上を図る販売事業	観光施設等運営事業	共催・後援・会員向け事業			
令和6年度	177,308	495,085	114,744	261,502	31,231	4,483	3,392	58,485	1,146,230
令和5年度	183,091	398,753	107,945	149,534	30,175	4,454	3,501	57,715	935,168
増減額	▲ 5,783	96,332	6,799	111,968	1,056	29	▲ 109	770	211,062

上記金額のうち、人件費 (単位：千円)

	事業費合計	管理費	経常費用合計
令和6年度	294,660	29,385	324,045
令和5年度	277,894	30,347	308,241
増減額	16,766	▲ 962	15,804

令和6年度観光事業関係者表彰

観光事業功労者 2名

氏名	役職	功績
太田紀美	京都花街組合連合会 前会長	多年にわたり組織の役員として伝統伎芸の振興に尽力し、京の花街文化の継承と五花街の発展に寄与した。
岡本芳雄	左大文字保存会 名誉会長	多年にわたり組織の役員として五山送り火行事の保存継承に尽力し、地域の活性化と京都観光の振興に寄与した。

観光業界功労者 3名

氏名	役職	功績
鈴木一也	一般社団法人京都府バス協会 理事・会長	多年にわたり組織の役員として京都への観光客誘致と業界における諸問題の解決に取り組み、協会の発展と京都観光の振興に寄与した。
本村哲朗	京都府料理飲食業組合連合会 常任理事	多年にわたり組織の役員として連合会の発展に貢献し、和食を通じて京都の伝統的な食文化の普及継承に寄与した。
宮田千津代	京都観光旅館連盟 副会長	多年にわたり組織の役員として観光客の受け入れに努め、連盟の発展と京都観光の振興に寄与した。

優良観光従事者 58名

氏名	勤務先	勤続年	功績
青木弘子	京都駅近鉄名店街商店街振興組合	16	多年にわたり販売業務に従事し社業の発展と京漬物の普及に努めた。
ジェフ バークランド	学校法人京都外国語大学	16	多年にわたり異文化コミュニケーション教育に従事し京都の情報発信と後進の育成に努めた。
石田和幸	日蓮宗本山本法寺	17	多年にわたり拝観者や観光客への案内業務に従事し京都の伝統文化の継承と観光振興に努めた。
荒木武資	嵐山通船株式会社	17	多年にわたり船頭業務に従事し京都の伝統文化の継承と後進の育成に努めた。
新川真由美	炭屋旅館	20	多年にわたり旅館業に従事し観光客へのサービス向上と接遇に努めた。
篠崎雅広	彌榮自動車株式会社	25	多年にわたり観光タクシー乗務員として観光案内業務に従事し京のおもてなしと京都の観光振興に努めた。
原智代美	旅館こうろ	16	多年にわたり旅館業に従事し観光客の接遇と後進の育成に努めた。

氏名	勤務先	勤続年	功績
中嶋博美	京司クラブ	35	多年にわたりホテルでの司会業等に従事し観光客へのサービス向上と京都の食文化の継承に努めた。
荒川道江	公益財団法人京都伝統伎芸振興財団	20	多年にわたり五花街の伝統文化の保存継承に携わる業務に従事し京都の観光振興と業界の発展に努めた。
福井雅浩	キッチン有限公司	22	多年にわたり飲食部門に従事し京都の食文化の普及と社業の発展に努めた。
野崎晴巳	株式会社ワン・ワールド	18	多年にわたり観光案内業務に従事し観光客の接遇と後進の育成に努めた。
丹下智和	ますや旅館	22	多年にわたり調理部門に従事し京都の食文化の継承と普及に努めた。
谷泰範	ザ・プリンス京都宝ヶ池	39	多年にわたり宿泊業における営業部門に従事し京都への観光客誘致と情報発信に努めた。
河野貴志	RRH京都オペレーションズ合同会社 リーガロイヤルホテル京都	36	多年にわたり宿泊業に従事し観光客の接遇と後進の育成に努めた。
武甕美枝子	一般社団法人京都市交通局協力会	17	多年にわたり観光案内業務に従事し観光客の接遇と観光客へのサービス向上に努めた。
上田哲也	株式会社表現社	17	多年にわたり観光土産小売店への営業業務に従事し社業の発展と京都名産品の普及に努めた。
佐藤泰仁	ヤマト運輸株式会社京都主管支店	29	多年にわたり京都観光における物流業に従事し観光客へのサービス向上と観光産業の発展に努めた。
吉澤裕美	平安雅楽会	30	多年にわたり楽師として伝統行事等に従事し京都の観光振興と伝統文化の保存継承に努めた。
阿部晋也	株式会社ハトヤ瑞鳳閣 京料理花ごころ	17	多年にわたり調理部門に従事し京都の食文化の継承と後進の育成に努めた。
今井清悟	奥比叡参詣自動車道株式会社	15	多年にわたり調理部門に従事し観光客へのサービス向上と社業の発展に努めた。
林克義	柊家旅館本館	23	多年にわたり旅館業に従事し観光客へのサービス向上と接遇に努めた。
平野泰久	柊家旅館別館	27	多年にわたり旅館業に従事し京都の食文化の普及と継承に努めた。
平尾真理子	株式会社半兵衛塾	16	多年にわたり飲食・接客サービス業務に従事し京のおもてなしと京都の食文化の継承に努めた。
柳生尚己	株式会社京都ホテル	30	多年にわたり宿泊業に従事し観光客の接遇と後進の育成に努めた。
亀田信也	京都駅ビル開発株式会社	18	多年にわたり京都劇場や京都駅ビルの企画・管理運営業務に従事し観光客へのサービス向上と社業の発展に努めた。
渡辺保久	ヤサカ観光バス株式会社	18	多年にわたり観光案内業務に従事し京都の観光振興と観光客誘致に努めた。
山元洋昭	比叡山自動車道株式会社	17	多年にわたり観光案内業務に従事し観光客の接遇と社業の発展に努めた。

氏 名	勤 務 先	勤続年	功 績
照本 ナタリア	株式会社キエフ	15	多年にわたりホールでのサービス業務に従事し観光客へのサービス向上と京都への観光客誘致に努めた。
野々村 洋 一	京福電気鉄道株式会社	26	多年にわたり沿線創造事業に従事し京都の観光振興と地域の活性化に努めた。
酒 井 宏 樹	京都新阪急ホテル	29	多年にわたり料飲部門に従事し観光客の接遇と社業の発展に努めた。
宮 下 勇	株式会社響映	30	多年にわたり映像部門に従事し京都の観光振興と情報発信に努めた。
古 川 拓 也	一般社団法人嵐山保勝会	21	多年にわたり保勝会をはじめとする観光事業に従事し京都への観光客誘致と地域の活性化に努めた。
杉 本 忍	株式会社土井志ば漬本舗	27	多年にわたり販売業務に従事し観光客へのサービス向上と京都の食文化の継承に努めた。
風 間 静 香	株式会社三嶋亭	22	多年にわたり経理部門に従事し社業の発展と京のおもてなしに努めた。
川 戸 優 子	株式会社 JR東海リテイリング・プラス関西支社	30	多年にわたり販売業務に従事し京菓子の普及と観光客へのサービス向上に努めた。
和 田 貴 子	植彌加藤造園株式会社	18	多年にわたり造園業の企画開発部門に従事し京都の観光振興と地域の活性化に努めた。
菅 原 竜 太	株式会社ホテルギンモンド	25	多年にわたり宿泊業に従事し業界の発展と後進の育成に努めた。
三 山 口 達	タカラサプライコミュニケーションズ 株式会社	22	多年にわたりウェブの企画制作業務に従事し京都の情報発信と地域の活性化に努めた。
田 中 敦 夫	株式会社大安	28	多年にわたり販売業務に従事し京漬物の普及と観光客の接遇に努めた。
川 瀬 洋 志	株式会社木乃婦	27	多年にわたり調理部門に従事し京都の食文化の継承と社業の発展に努めた。
最 上 尚 徳	株式会社フクナガ	23	多年にわたり店舗運営・仕入れ部門に従事し京のおもてなしと京都の食文化の継承に努めた。
大八木 夏 子	JR西日本京都SC開発株式会社	27	多年にわたり営業部門に従事し京都の観光振興と情報発信に努めた。
加 藤 慌 士	えびす屋嵐山總本店	24	多年にわたり人力車俵夫に従事し京のおもてなしと観光客へのサービス向上に努めた。
安 食 盛 夫	あじき路地	20	多年にわたり路地の修繕対応業務に従事し京都の伝統文化の継承と観光客誘致に努めた。
篠 原 豊 和	臨済宗妙心寺派花園会館	17	多年にわたり宿泊業に従事し観光客の接遇と業界の発展に努めた。
上 野 慎 一	Hybrid Inn 京都花宿	18	多年にわたり宿泊業に従事し社業の発展と京都への観光客誘致に努めた。
上 西 潤	叡山電鉄株式会社	19	多年にわたり鉄道運営業務に従事し観光客の接遇と後進の育成に努めた。

氏 名	勤 務 先	勤続年	功 績
久 保 都	京都鉄道博物館	18	多年にわたり総務部門に従事し京都の情報発信と観光客へのサービス向上に努めた。
上 田 真 弓	京都ハンディクラフトセンター	19	多年にわたり販売業務等に従事し伝統工芸品の普及と観光客の接遇に努めた。
高 畑 哲 男	株式会社モリタ屋	19	多年にわたり調理部門に従事し観光客へのサービス向上と京都の食文化の継承に努めた。
沢 田 勝 利	ジェイアール東海関西開発株式会社	17	多年にわたり販売業務に従事し観光客へのサービス向上と京のおもてなしに努めた。
高 岡 良 明	学校法人大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校	16	多年にわたり観光及びホスピタリティ分野の人材養成業務に従事し京都の観光振興と業界の発展に努めた。
永 塚 幸 子	THE SODOH HIGASHIYAMA KYOTO	18	多年にわたりインバウンド向け企画・営業部門に従事し業界の発展と京都の観光振興に努めた。
磯 尾 拓 也	株式会社 ジェイアール西日本ホテル開発	19	多年にわたり料飲部門に従事し観光客へのサービス向上と社業の発展に努めた。
吉 本 晋 平	株式会社中嶋象嵌	15	多年にわたり京象嵌製造業務に従事し京都の伝統文化の継承と伝統工芸品の普及に努めた。
岡 崎 祥 子	株式会社西利	15	多年にわたり販売業務に従事し京漬物の普及と社業の発展に努めた。
安 田 康 二	京都青果合同株式会社	15	多年にわたり販売業務に従事し京都の食文化の普及と観光振興に努めた。
清 水 祐 希	株式会社井筒八ッ橋本舗	15	多年にわたり販売業務に従事し京菓子の普及と観光客へのサービス向上に努めた。

合計 63 名